

デジタルスチルカメラ

取扱説明書



ヘルプガイド(Web取扱説明書)

Web上のマニュアル「ヘルプガイド」も
ご覧ください。パソコンやスマートフォン
でご覧いただけます。

<http://rd1.sony.net/help/dsc/1720/ja/>

Cyber-shot

警告 安全のために

→ 119 ~ 122ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ➔
- ① 電源を切る
 - ② 電池をはずす
 - ③ 相談窓口につながる

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

電池について

安全のための文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含まれます。

ヘルプガイドを 活用しましょう！



ヘルプガイドは、パソコンやスマートフォンでご覧いただける、Web上のマニュアルです。メニューの詳細や応用的な使いかた、最新情報などを説明しています。



ここから
アクセス

<http://rd1.sony.net/help/dsc/1720/ja/>

DSC-RX10M4 ヘルプガイド



取扱説明書(本書)



基本的な操作を説明しています。

本機をすぐに使ってみたい方は、「スタートガイド」(23ページ)をご覧ください。初めてのシャッターを切るまでに必要な準備を説明しています。

カメラ内ガイド



MENU(メニュー)の説明をカメラの画面に表示する機能です。

撮影中でもサッと調べられて便利です。

この機能を使うには、あらかじめ設定が必要です。設定方法は、ヘルプガイドにアクセスして「カメラ内ガイド」を検索してみてください。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全のために.....	2
ヘルプガイドを活用しましょう！.....	3
お使いになる前に必ずお読みください.....	8

撮影の準備

本体と付属品を確認する.....	12
各部の名称.....	13
基本的な操作.....	18
コントロールホイールの使いかた.....	18
Fn (ファンクション)ボタンの使いかた.....	19
画面表示を変える.....	20
画面表示を切り換える (撮影/再生).....	20
スタートガイド.....	23
ステップ1: バッテリーと メモリーカード (別売) を入れる.....	23
ステップ2: バッテリーをカメラに 入れたまま充電する.....	25
ステップ3: 電源を入れて日付と時刻を設定する.....	26
ステップ4: オートモードで撮影する.....	27

撮影

静止画を撮影する.....	29
フォーカス (ピント) を合わせる.....	31
フォーカスモード.....	31

オートフォーカス	34
フォーカスエリア	34
ドライブ機能を使う(連写/セルフタイマー)	36
連続撮影	37
セルフタイマー	38
タッチ機能を使う	39
タッチ操作	39
タッチフォーカス	39
静止画の画像サイズ/画質を選ぶ	42
 画像サイズ	42
 画質	43
撮影モードを変える	44
モードダイヤルの機能一覧	44
オートモードを切り替える(オートモード)	45
P プログラムオート	46
A 絞り優先	47
S シャッタースピード優先	48
M マニュアル露出	49
M バルブ撮影	50
露出補正	52
ISO感度を選ぶ	54
ズームする	56
ズーム設定	56
ズーム倍率について	57
ホワイトバランス	58
フラッシュを使う	59
フラッシュモード	60

動画撮影

動画を撮影する	62
 記録方式	64
 記録設定	65
スーパースローモーション撮影をする (ハイフレームレート設定)	67
プロキシー記録	71

再生

画像を見る	72
静止画を再生する	72
動画を再生する	73
一覧表示で再生する (一覧表示)	74
画像を削除する	75
表示中の画像を削除する	75

カメラのカスタマイズ

よく使う設定を登録する	76
📷1/📷2の登録	76
ボタンにお好みの機能を割り当てる	77
カスタムキー (撮影) / カスタムキー (再生)	77
ファンクションメニュー設定	78

ネットワーク機能を使う

Wi-Fi/NFCワンタッチ/Bluetooth機能を使う	79
PlayMemories Mobileをインストールする	79
画像に位置情報を記録する	80

ソフトウェア

パソコン用ソフトウェアの紹介	81
PlayMemories Home	81
Image Data Converter	82
Remote Camera Control	82

MENU一覧／画面表示一覧

MENUの使いかた	83
MENU一覧	84
📷1 (撮影設定1)	84
📷2 (撮影設定2)	89
🌐 (ネットワーク)	92
▶ (再生)	93
🔧 (セットアップ)	94
★ (マイメニュー)	96
モニターに表示されるアイコン一覧	98
表示パネルの表示	103

困ったときは

困ったときのこと	104
----------------	-----

本機について／使用上のご注意

保証書とアフターサービス	109
主な仕様	110
バッテリーの使用時間と撮影可能枚数	110
使用できるメモリーカード	111
静止画の記録可能枚数	112
動画の記録可能時間	113
主な仕様	115
安全のために	119

索引..... 123

Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能の詳細については、別紙の「Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド」またはヘルプガイド(3ページ)をご覧ください。

お使いになる前に必ずお読みください

ヘルプガイド(3ページ)の「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機の取り扱いについてのご注意

- 本機は防じん・防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。
- 上がったフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。
- フラッシュ部の近くに指を置かないでください。
- 電動ズーム使用時に物や指を引き込まれないように注意してください。
- フラッシュ部を下げるときに手を挟まないように注意してください。
- 使用しないときは、必ずレンズキャップを付けてください。
- レンズやファインダーを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙、火災、ボディやレンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。

- 逆光での撮影時は、太陽を画角から十分にずらしてください。太陽光がカメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。また、太陽を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがあります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。付属品やメモリーカードなどを飲みこむ恐れがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

モニターおよびファインダーについてのご注意

- モニターやファインダーは、有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- ファインダーの周辺部分の画像が少し歪んで見える場合がありますが、故障ではありません。構図の隅々まで確認して撮影したいときは、モニターも使用してください。
- ファインダーをのぞきながらパンしたり、視線を上下左右に動かすと、ファインダーの画像が歪んだり、色合いが変わって見える場合があります。これはレンズや表示デバイスの特性によるもので、故障ではありません。なるべくファインダーの中央付近を見るようにして撮影してください。

- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る可能性があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

連続撮影時のご注意

連続撮影時、モニターまたはファインダーに撮影画面と黒い画面がすばやく交互に表示されることがあります。このとき、モニターやファインダーを見続けることにより、体調不良などの不快な症状が出る可能性があります。不快な症状が出たときは、本機の使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

長時間撮影および4K動画撮影についてのご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。十分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がのを待って撮影されることをおすすめします。

- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。

録画・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 撮影する前に確認する画像は、実際の撮影結果と異なることがあります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 本機で撮影した画像や動画の他機での再生、他機で撮影/修正した画像や動画の本機での再生は保証いたしません。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

マルチインターフェースシューについてのご注意

- フラッシュなどのアクセサリーを本機のマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。
- マルチインターフェースシューに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。また国や地域によって発売されていない場合があります。

本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温(25°C)下でのものです。バッテリーについては、充電ランプ消灯まで充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

位置情報についてのご注意

位置情報を付加した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合は[位置情報連動設定]を[切]にして撮影してください。

本機の廃棄/譲渡についてのご注意

個人情報保護のため、本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。

- [設定リセット] → [初期化]を選ぶ。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[フォーマット]や[削除]では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。

- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

無線に関連する機能(Wi-Fiなど)を一時的に無効にする

無線に関する機能は、[飛行機モード]で一時的に無効にできます。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国、または地域の電波関連規制等に違反する恐れがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。

3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS2/OF2/XX8

2.4 : 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX : 変調方式が DS-SS/OFDM/その他の方式、であることを示します。

2 : 想定される与干渉距離が20 m以下であることを示します。

8 : 想定される与干渉距離が80 m以下であることを示します。

■■■■ : 2400 MHz ~ 2483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

ACアダプター / チャージャーについて

ACアダプター / チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。

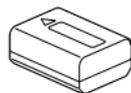
MENU →  (セットアップ) → [認証マーク表示] を選択してください。本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

本体と付属品を確認する

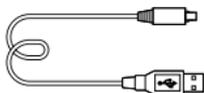
万一、不足の場合はお買い上げ店
にご相談ください。

()内の数字は個数です。

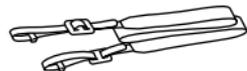
- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリー
パックNP-FW50 (1)
- アイピースカップ (1)
(本機に装着)
- シューキャップ (1)
(本機に装着)
- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)
- Wi-Fi/NFCワンタッチ機能
ガイド (1)



- マイクロUSBケーブル (1)



- ACアダプター (1)
- ショルダーストラップ (1)



- レンズキャップ (1)

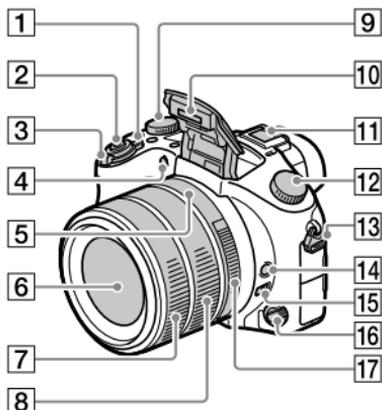


- レンズフード (1)



各部の名称

()内の数字は参照ページです。



- 1 ON/OFF (電源)スイッチ (26)
- 2 シャッターボタン(29)
- 3 撮影時: W/T (ズーム)レバー (27、29)
再生時:  (一覧表示)レバー (74) /再生ズームレバー
- 4 セルフタイマーランプ (38) /AF補助光(85)
- 5 絞り指標
- 6 レンズ
- 7 前レンズリング(31、92)
- 8 後レンズリング(56、92)
- 9 露出補正ダイヤル(52)

10 フラッシュ (59)

- 発光させるには、 (フラッシュポップアップ) ボタンを押してください。フラッシュ発光部は自動でポップアップしません。
- フラッシュを使わないときは、手で押して元に戻してください。

11 マルチインターフェースシュー

- 一部のアクセサリーでは接続時にマルチインターフェースシュー後方からはみ出る場合がありますが、先端まで入っていれば取り付けできています。
- マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/connect/>
アクセサリーシュー対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。

 Multi Interface Shoe

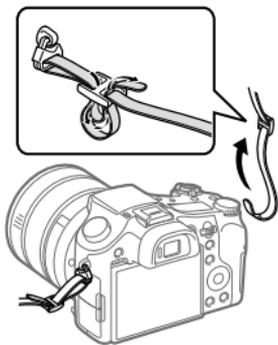
Accessory Shoe

12 モードダイヤル(44)

AUTO (オートモード) /
P (プログラムオート) /
A (絞り優先) /
S (シャッタースピード優先) /
M (マニュアル露出) /
MR (登録呼び出し) /
動画 (動画) /
HFR (ハイフレームレート) /
スイング (スイングパノラマ) /
SCN (シーンセレクション)

13 ショルダーストラップ取り付け部

ストラップの両方の先端をそれぞれ取り付けます。

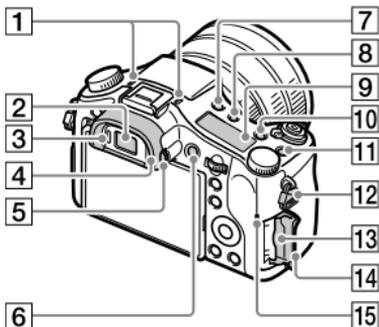


14 フォーカスホールドボタン (77)

15 フォーカスレンジリミッタースイッチ (32)

16 フォーカスモードダイヤル (31)

17 絞りリング (47)



1 内蔵マイク

動画撮影時はふさがないでください。ノイズや音量低下の原因になります。

2 ファインダー

3 アイセンサー

4 アイピースカップ

5 視度調整ダイヤル

6 MOVIE (動画) ボタン (62)

7 閃光 (フラッシュポップアップ) ボタン (59)

8 表示パネル照明 (表示パネル照明) ボタン (103)

9 表示パネル (103)

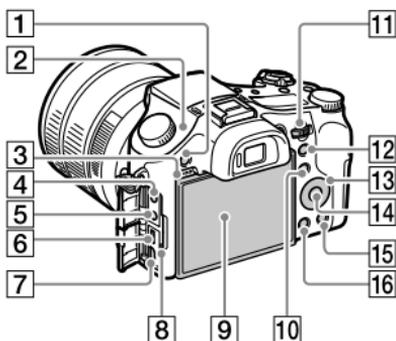
10 C2 ボタン (カスタムボタン2) (77)

11 C1 ボタン (カスタムボタン1) (77)

12 ショルダーストラップ取り付け部

13 メモリーカード挿入口 (23)

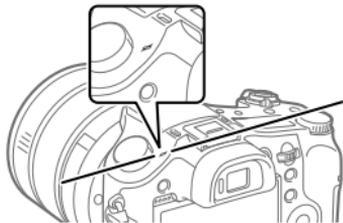
- 14 メモリーカードカバー
(23)
- 15 アクセスランプ(24)



- 1 MENU (メニュー)ボタン
(83)

- 2 ㊦ イメージセンサー位置表示

イメージセンサーとは、光を電気信号に変えるためのセンサーです。㊦マークがイメージセンサー面の位置を表しています。被写体までの距離を正確に測るには、この線の位置を参考にしてください。



レンズの最短撮影距離よりも近いものにはピントが合いません。撮りたいものに近づきすぎているか、確認してください。

- 3 スピーカー

- 4 ㊦ (マイク)端子

外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

- 5 ㊦ (ヘッドホン)端子

- 6 マルチ/マイクロUSB端子

- この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。
- マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。

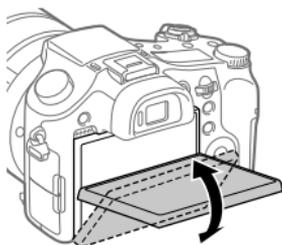
<http://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/connect/>

- 7 HDMIマイクロ端子

- 8 充電ランプ(25)

- ⑨ モニター
(タッチ操作時：タッチパネル/タッチパッド)

モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



取り付ける三脚によってはモニターの角度が調整できなくなる場合があります。その場合、一度三脚ネジを緩めてからモニターの角度を調整してください。

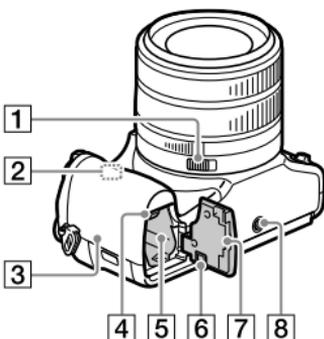
- ⑩ 撮影時：Fn (ファンクション) ボタン(19、78)

再生時：
☑(スマートフォン転送)ボタン
このボタンを押すとスマートフォン転送画面になります。

- ⑪ コントロールダイヤル
撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。

- ⑫ 撮影時：AELボタン
再生時：🔍(再生ズーム)ボタン

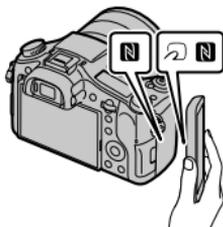
- ⑬ コントロールホイール (18)
⑭ 中央ボタン(18)
⑮ 撮影時：C3ボタン (カスタムボタン3) (77)
再生時：☒(削除)ボタン (75)
⑯ ▶(再生)ボタン(72)



- ① 絞りリングクリック切換スイッチ(47)
② Wi-Fi/Bluetoothアンテナ (内蔵)

3 **N**(Nマーク)

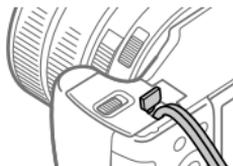
NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。



- NFC (Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

4 バッテリーロックレバー (23)**5** バッテリー挿入口(23)**6** 接続プレートカバー

ACアダプター AC-PW20 (別売)を使うときに使います。バッテリー挿入口に接続プレートを入れ、図のように接続プレートカバーからコードを出します。



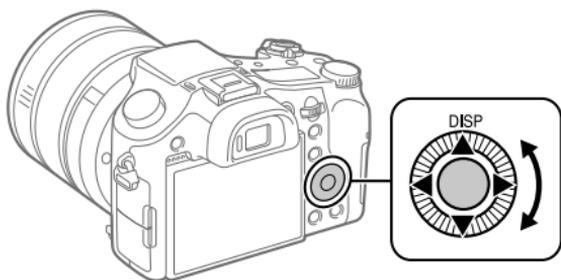
カバーを閉じるときは、コードを挟まないように気をつけてください。

7 バッテリーカバー (23)**8** 三脚用ネジ穴

三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使います。ネジの長さが5.5mm以上の場合、本機を三脚にしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

基本的な操作

コントロールホイールの使いかた

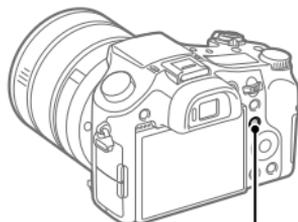


- コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。選んだ項目はコントロールホイールの中央を押すと決定されます。
- コントロールホイールの上には、DISP (画面表示切換) が割り当てられています。また、コントロールホイールの下/左/右、中央、回転操作には好みの機能を割り当てることができます。
- 再生時にコントロールホイールの左/右を押す、またはコントロールホイールを回すことで再生画面を送ることができます。

Fn (ファンクション)ボタンの使いかた

撮影時にFn (ファンクション)ボタンを押して、あらかじめ登録したよく使う機能呼び出すことができます。呼び出す機能は12個まで登録できます。

- 1 コントロールホイールのDISPボタンを押して [ファインダー撮影用]画面以外にして、Fn (ファンクション)ボタンを押す。

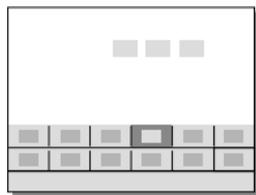


Fn (ファンクション)ボタン

- 2 コントロールホイールの上/下/左/右を押して、設定する機能を選ぶ。

- 3 コントロールホイールを回して希望の設定を選び、中央を押す。

- 一部の機能は、コントロールダイヤルを回して微調整値の設定もできます。



■専用画面で設定するには

手順2で、設定する機能を選んでコントロールホイールの中央を押すと、その項目設定の専用画面になります。操作ガイドに従って設定してください。



操作ガイド

画面表示を変える

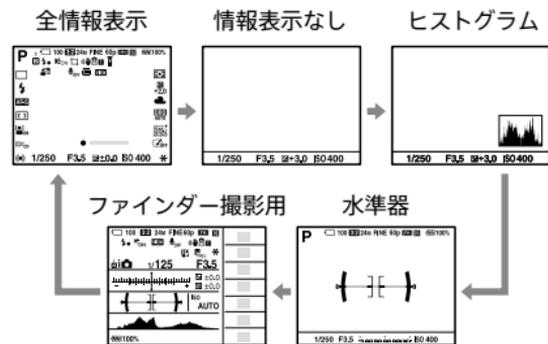
画面表示を切り換える(撮影/再生)

表示される画面表示を切り換えます。

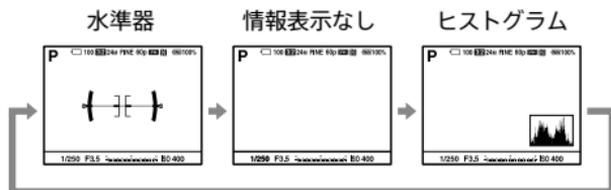
DISP (画面表示)を押す。

- ファインダー表示を変更する場合には、ファインダーをのぞきながらDISPボタンを押してください。
- DISPボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。
- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

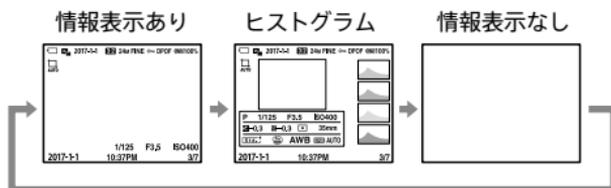
撮影時(モニター)



撮影時(ファインダー)



再生時(モニター/ファインダー)



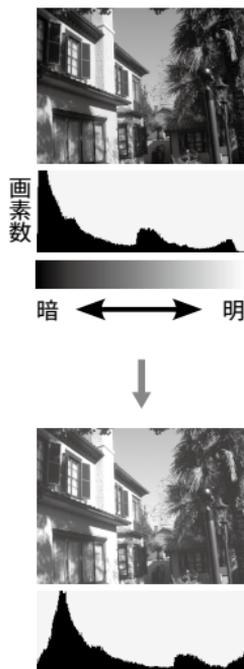
- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します(白とび黒つぶれ警告)。
- 再生時の設定は、[オートレビュー]でも反映されます。

■ ヒストグラム

ヒストグラムとは輝度分布のことで、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。左に行くほど暗く、右は明るいことを表しています。

露出補正をかけると、ヒストグラムもそれに応じて変化します。

ヒストグラムの左右両端のデータは、白とび/黒つぶれした部分があることを表しています。このような部分は、撮影後、画像をパソコンで補正しても再現することはできません。必要に応じて露出補正をしてから撮影してください。



ご注意

- 撮影時のファインダー表示とモニター表示はそれぞれ独立して設定できます。ファインダーの画面表示はファインダーをのぞいた状態で設定してください。
- パノラマ撮影時は[ヒストグラム]が表示できません。
- ヒストグラムは、撮影結果ではなく、画面で見ている画像のヒストグラムになります。絞り値などにより結果が異なります。
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとおり大きく異なります。
 - フラッシュ発光したとき
 - 夜景などの低輝度な被写体のとき
- 動画撮影時は、[ファインダー撮影用]が表示できません。

ヒント

- お買い上げ時の設定では、以下は表示されません。
 - グラフィック表示
 - 全情報表示(ファインダー使用時)
- DISPボタンで表示できる内容を変更するときは、MENU → 2(撮影設定2) → [DISPボタン]から設定を変更してください。

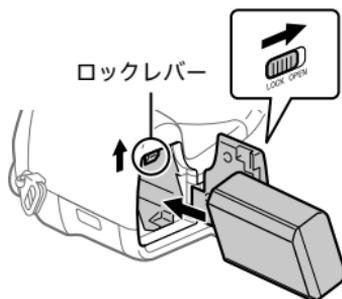
スタートガイド

ステップ1: バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる

本機で使用できるメモリーカードについては、111ページをご覧ください。

1 バッテリーカバーを開けて バッテリーを入れる。

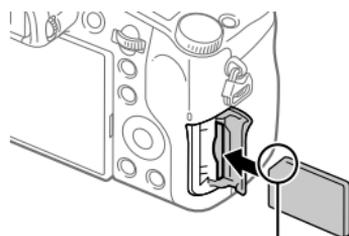
- バッテリーの向きを確認し、ロックレバーを押しながら入れます。



2 バッテリーカバーを閉じる。

3 メモリーカードカバーを開けて メモリーカード(別売)を入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きに合わせ、「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。



切り欠きの向きに注意する

4 メモリーカードカバーを閉じる。

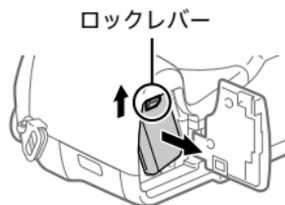
■メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードの動作を安定させるために、本機ではじめてお使いになるメモリーカードは、まず、本機でフォーマット(初期化)することをおすすめします。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報(M1～M4)も含めて、すべてのデータが削除され、元に戻せません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- フォーマットするには、MENU →  (セットアップ) → [フォーマット] を選びます。

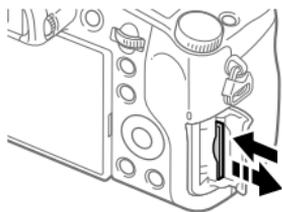
■バッテリーを取り出すには

アクセスランプ(15ページ)が点灯していないことを確認してから電源を切り、ロックレバーをずらして、バッテリーを引き出します。このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。



■メモリーカードを取り出すには

アクセスランプ(15ページ)が点灯していないことを確認し、メモリーカードを一度押します。



ステップ2：バッテリーをカメラに入れたまま充電する

1 本機の電源を切る。

2 バッテリーを入れた本機とACアダプター（付属）をマイクロUSBケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。

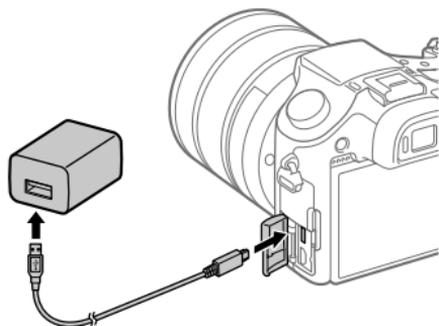
カメラの充電ランプ（オレンジ色）

点灯：充電中

消灯：充電終了

点滅：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

- 充電時間の目安（満充電）：約150分（バッテリーを使い切ってから、温度25℃の環境下で充電した場合）
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプが速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度充電してください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。



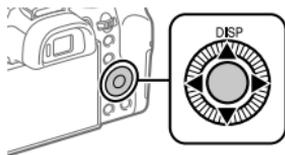
ステップ3：電源を入れて日付と時刻を設定する

- 1 ON/OFF (電源)スイッチを「ON」にして、本機の電源を入れる。

ON/OFF (電源)スイッチ



- 2 モニターの表示で[実行]が選ばれていることを確認し、コントロールホイールの中央を押す。



- 3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、中央を押す。

- 4 コントロールホイールの上/下を押す、またはホイールを回して[日時]を選び、中央を押す。

サマータイム：日本では、サマータイムは[切]にする。

表示形式：日付表示順を選ぶ。

- 5 コントロールホイールの上/下/左/右を押す、またはホイールを回して希望の設定を選び、中央を押す。

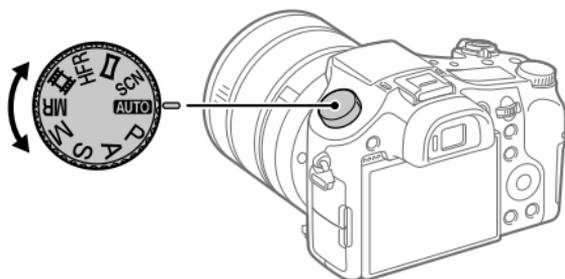
- 真夜中は12：00AM、正午は12：00PMです。
- [日時]を設定する場合は、上/下を押して数値を変更してください。

- 6 手順5ですべて設定し、[実行]を選んで中央を押す。

ヒント

- 日時を設定し直したい場合は、メニューで設定できます (95ページ)。

ステップ4：オートモードで撮影する



- 1 モードダイヤルを回して**AUTO**にする。
- 2 ファインダーまたはモニターを見て、本機を構える。
- 3 W/T (ズーム)レバーを動かして、被写体の大きさを決める。
- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
 - ピントが合うとフォーカス表示(●など)が点灯します。
- 5 シャッターボタンを深く押し込む。

■動画を撮影するには

MOVIE (動画) ボタンを押すと、撮影を開始/終了できます。

■画像を再生するには

▶(再生) ボタンを押すと再生モードになります。コントロールホイールで画像を選べます。

■ 表示中の画像を削除するには

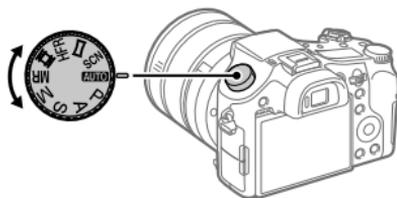
削除したい画像を表示中に、 (削除) ボタンを押します。確認のメッセージが出たら、コントロールホイールで [削除] を選び、中央を押すと削除できます。

■ 撮影モードを変えて撮影するには

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルを合わせます (44ページ)。

静止画を撮影する

- 1 モードダイヤルを回して、好みの撮影モードを選ぶ。



- 2 モニターを見やすい角度に調節して、本機を構える。または、ファインダーをのぞいて、本機を構える。

- 3 W/T (ズーム)レバーを動かして、被写体の大きさを決める。

- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして、フォーカス表示(●など)が点灯する。

- ピントが合う最短の撮影距離はレンズ先端から広角端で約3 cm、望遠端で約72 cm、焦点距離250 mm (35mm判換算)付近で約140 cmです。



- 5 シャッターボタンを深く押し込む。

■ フォーカスを固定して好みの構図で撮影するには(フォーカスロック)

オートフォーカス時に、希望の被写体にピントを固定して撮影します。

① フォーカスモードダイヤルを回して、S (シングルAF)またはA (AF制御自動切り換え)を選ぶ。

② ピントを合わせたい被写体にフォーカスエリアを合わせ、シャッターボタンを半押しする。

ピントが固定される。

- ピントが合いにくい場合は、[フォーカスエリア]を[中央]または、[フレキシブルスポット]にします。



③ シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に戻す。



④ シャッターボタンを押し込んで撮影する。

ヒント

- 自動でピントを合わせられない場合は、フォーカス表示が点滅し、「ピピッ」と電子音が鳴りません。構図を変えたり、フォーカス設定を変えるなどしてください。なお、[コンティニューアスAF]に設定している場合は、が点灯し、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

ご注意

- [フォーカスモード]を[AF制御自動切り換え]に設定していても、被写体が動いているとカメラが判断した場合は、フォーカスロックできません。

フォーカス(ピント)を合わせる

フォーカスモード

被写体の動きに応じてピント合わせの方法を選べます。

フォーカスモードダイヤルを回して希望の設定を選ぶ。



フォーカスモードダイヤル

- S (シングルAF) :** ピントが合った時点でピントを固定する。動きのない被写体で使う。
 - A (AF制御自動切り換え) :** 被写体の動きに応じて、シングルAFとコンティニユアスAFが切り替わる。シャッターボタンを半押しすると、被写体が静止していると判断したときはピント位置を固定し、被写体が動いているときはピントを合わせ続ける。連続撮影時は、2枚目以降自動的にコンティニユアスAFに切り替わります。
 - C (コンティニユアスAF) :** シャッターボタンを半押ししている間中、ピントを合わせ続ける。動いている被写体にピントを合わせるときに使う。
[コンティニユアスAF]では、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。
 - DMF (ダイレクトマニュアルフォーカス) :** オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動で微調整できる。最初からマニュアルフォーカスでピントを合わせるよりもすばやくピント合わせができ、マクロ撮影などに便利です。
 - MF (マニュアルフォーカス) :** ピント合わせを手動で行う。オートフォーカスで意図した被写体にピントが合わないときには、マニュアルフォーカスで操作してください。
- ダイレクトマニュアルフォーカスやマニュアルフォーカスを選び手動でピントを合わせるときは、前レンズリングを回します。

■フォーカス表示

- 点灯：ピントが合って固定されている。
- 点滅：ピントが合っていない。
- ◎点灯：ピントが合っている。被写体の動きに合わせてピント位置が変わる。
- ⊖点灯：ピント合わせの途中。

■フォーカスレンジリミッターについて

フォーカスレンジリミッタースイッチを「∞-3m」にすると、望遠(35mm判換算焦点距離で150mm以上)での撮影時はカメラからの距離が3mより遠くにある被写体にピントが合います。望遠での撮影時に近くの被写体にピントが合うことを防ぎ、遠くの被写体に素早くピントを合わせることができます。

フォーカスレンジリミッターの状態がモニターにアイコンで表示されます。

FULL：フォーカスレンジリミッターが無効。撮影距離の全域でピント合わせをする。

LIMIT：フォーカスレンジリミッターが有効。無限遠～約3mの範囲に限定してピント合わせをする。

- 望遠以外(35mm判換算焦点距離で150mm未満)での撮影時は、スイッチを「∞-3m」にしても**FULL**が表示され、撮影距離の全域でピント合わせを行います。

■ピントが合いにくい被写体

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体
- ビルの外観など、繰り返しパターンの連続するもの
- フォーカスエリアの中に距離の異なるものが混じっているとき

ヒント

- [コンティニユアスAF]に設定しているとき、フォーカスホールドボタンを押すと、押している間ピントを固定することができます(77ページ)。
- マニュアルフォーカスやダイレクトマニュアルフォーカスで無限遠にピントを合わせるときは、充分遠くにある被写体にピントが合っていることをモニターやファインダー上で確認してください。

ご注意

- フォーカスモードダイヤルがS、AまたはDMFの場合でも、動画撮影時またはモードダイヤルが**HFR**のときはコンティニユアスAFになります。
- 使用条件によっては、フォーカスレンジリミッタースイッチを「∞-3m」にしているも最短撮影距離が3mから前後することがあります。

オートフォーカス

フォーカスエリア

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

MENU →  **1 (撮影設定1)** → **[フォーカスエリア]** → **希望の設定を選ぶ。**

-  **ワイド**：モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。静止画撮影でシャッターボタンを半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。
-  **中央**：モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。フォーカスロックと併用して好きな構図で撮影が可能。
-  **フレキシブルスポット**：モニター上の好きなところにフォーカス枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。フレキシブルスポット画面で、コントロールホイールを回して、フォーカス枠のサイズを変更できる。
-  **拡張フレキシブルスポット**：フレキシブルスポットの周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周囲のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。
-     **ロックオンAF**：シャッターボタンを半押しすると、選択されたAFエリアから被写体を追尾する。フォーカスモードが[コンティニューAF]のときのみ選択可能。[フォーカスエリア]設定画面で[ロックオンAF]にカーソルを合わせて、コントロールホイールの左/右でロックオンAFの開始エリアを変更できる。追尾開始エリアをフレキシブルスポットまたは拡張フレキシブルスポットにすると、好きなところに追尾開始エリアを移動することもできる。フレキシブルスポット画面で、コントロールホイールを回して、フォーカス枠のサイズを変更できる。

■ フォーカスエリアの移動方法

- [フォーカスエリア]が[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときに、[フォーカススタンダード]が割り当てられているボタンを押すと、コントロールホイールの上/下/左/右でフォーカス枠の位置を変更しながら撮影できます。コントロールホイールを使って撮影設定などを変更する場合は、[フォーカススタンダード]を割り当てたボタンを押してください。
- タッチ操作で、モニターのフォーカス枠をドラッグしすばやく移動させることができます。あらかじめ、[タッチ操作]を[切]以外に設定してください。

■ ご注意

- 以下の場合、[フォーカスエリア]は[ワイド]に固定されます。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
 - スマイルシャッター中
 - モードダイヤルが \square (動画)で[オートデュアル記録]を[入]にしている場合
- 連続撮影時やシャッターボタンを一気に押し込んだときなどには、フォーカスエリアが点灯しないことがあります。
- モードダイヤルが \square (動画)になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[ロックオンAF]は選択できません。
- フォーカス枠の移動中は、コントロールホイールとカスタムボタン3に割り当てられた機能を実行できません。

■ 位相差AFについて

使用するオートフォーカスエリア内に位相差AF測距点があると、位相差AFとコントラストAFをかけ合わせたオートフォーカスになります。

■ ご注意

- 絞り値がF8より大きいときは、位相差AFを使用できません。コントラストAFのみになります。
- [記録方式]が[XAVC S HD]で \square 記録設定]が[120p]のときは、位相差AFを使用できません。コントラストAFのみになります。

ドライブ機能を使う(連写/セルフタイマー)

1枚撮影、連写、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

1 MENU → 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → 希望の設定を選ぶ。

1枚撮影：通常の撮影方法。

 **連続撮影**：シャッターボタンを押している間、連続撮影する。

 **セルフタイマー**：シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影する。

 **セルフタイマー (連続)**：シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで指定枚数を連続撮影する。

BRK C 連続ブラケット：シャッターボタンを押し続けることで、露出を段階的にずらして画像を撮影する。

BRK S 1枚ブラケット：露出を段階的にずらして、指定した枚数の画像を1枚ずつ撮影する。

BRK WB ホワイトバランスブラケット：選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

BRK DRO DROブラケット：Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

ご注意

- 撮影モードが[シーンセレクション]で[スポーツ]を選んでいるときは、1枚撮影できません。

連続撮影

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 MENU → 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [連続撮影] を選ぶ。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

 Hi 連続撮影 : Hi /  Mid 連続撮影 : Mid /  Lo 連続撮影 : Lo

	 シャッター方式	
	メカシャッター	オート / 電子シャッター
連続撮影 : Hi	—	最高24枚/秒*
連続撮影 : Mid	最高10枚/秒*	最高10枚/秒*
連続撮影 : Lo	最高3.5枚/秒	最高3.5枚/秒

* 絞り値がF8より大きいときは、フォーカス位置は1枚目の撮影時の位置に固定されます。

ヒント

- 連続撮影中にピントと露出を合わせ続けるには、以下の設定に変更してください。
 - [フォーカスモード]を[コンティニュアスAF]にする。
 - [ シャッター半押しAEL]を[切]または[オート]にする。

ご注意

- 以下のときは、連続撮影ができません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - 撮影モードが[シーンセレクション]の[スポーツ]以外
 - [ピクチャーエフェクト]が以下のとき：
 - [ソフトフォーカス][絵画調HDR][リッチトーンモノクロ][ミニチュア]
 - [水彩画調][イラスト調]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
 - [ISO感度]を[マルチショットNR]に設定しているとき
 - [スマイルシャッター]使用時
- [ シャッター方式]を[メカシャッター]にしている場合は、連続撮影の速度を[連続撮影 : Hi]に設定できません。

セルフタイマー

シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影します。5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に写るときに、2秒セルフタイマーはシャッターボタンを押したときのブレを軽減するときに使います。

1 MENU → 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [セルフタイマー]を選ぶ。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

シャッターボタンを押してから撮影されるまでの秒数を設定する。

10 セルフタイマー：10秒

5 セルフタイマー：5秒

2 セルフタイマー：2秒

3 ピントを合わせてシャッターボタンを押す。

セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。

ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度シャッターボタンを押します。
- セルフタイマーを解除するには、MENU → 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [1枚撮影]を選びます。
- セルフタイマー作動中の電子音を消すには、[電子音]を[切]にしてください。
- ブラケットモードでセルフタイマー撮影するには、ドライブモードでブラケットを選択したうえで、MENU → 1 (撮影設定1) → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー]を選んでください。

ご注意

- 以下のときは、セルフタイマーを使えません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - [シーンセレクション]の[スポーツ]
 - [スマイルシャッター]

タッチ機能を使う

タッチ操作

モニターのタッチ操作を有効にするかどうかを設定します。
モニター撮影時のタッチ操作をタッチパネル操作と呼び、ファインダー撮影時のタッチ操作をタッチパッド操作と呼びます。

MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → 希望の設定を選ぶ。

タッチパネル+タッチパッド：モニター撮影時のタッチパネル操作と、ファインダー撮影時のタッチパッド操作を有効にする。

タッチパネル操作のみ：モニター撮影時のタッチパネル操作のみを有効にする。

タッチパッド操作のみ：ファインダー撮影時のタッチパッド操作のみを有効にする。

切：タッチ操作をすべて無効にする。

タッチフォーカス

静止画または動画撮影時、ピントを合わせる被写体をタッチ操作で選択できます。

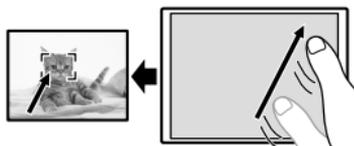
MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [切]以外の希望の設定を選ぶ。

■ 静止画撮影時にピントを合わせたい位置を指定する

モニターにタッチして希望の場所にピントを合わせます。

- ① [フォーカスエリア]を[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]以外にする。
- ② MENU → 1 (撮影設定1) → [中央ボタン押しロックオンAF] → [切]を選ぶ。
- ③ モニターにタッチする。

- モニター撮影時は、ピントを合わせたい被写体にタッチします。
- ファインダー撮影時は、ファインダーをのぞきながらモニターをタッチしてドラッグすると、ピント合わせの位置を移動できます。



- シャッターボタンを半押しすると枠内にピントが合います。撮影するにはそのままシャッターボタンを押し込んでください。
- タッチ操作によるピント合わせを解除するには、モニター撮影時は、xをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。ファインダー撮影時は、コントロールホイールの中央を押してください。

■ 動画撮影時にピントを合わせたい位置を指定する(スポットフォーカス)

タッチした被写体にピントを合わせます。ファインダー撮影時は、スポットフォーカスは使用できません。

- ① [フォーカスエリア]を[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]以外にする。
- ② MENU → 1 (撮影設定1) → [中央ボタン押しロックオンAF] → [切]を選ぶ。

③ 録画開始前もしくは録画中にピントを合わせたい被写体をタッチする。

- タッチすると一時的にマニュアルフォーカスになり、前レンズリングでピントを調整できます。
- スポットフォーカスを解除したい場合は、xをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。

ヒント

- タッチフォーカス機能のほかに、以下のようなタッチ操作が可能です。
 - [フォーカスエリア]が[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときは、タッチ操作でフォーカス枠を移動できます。
 - [フォーカスモード]が[マニュアルフォーカス]のときは、モニターをダブルタップするとピント拡大の操作が行えます。

ご注意

- 以下のとき、タッチフォーカス機能は使えません。
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - [フォーカスモード]が[マニュアルフォーカス]
 - デジタルズーム中

静止画の画像サイズ/画質を選ぶ

📷画像サイズ

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも精細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。

MENU → 📷1 (撮影設定1) → [📷 画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

📷横縦比]が3 : 2のとき	
L:20M	5472×3648画素
M:10M	3888×2592画素
S:5.0M	2736×1824画素

📷横縦比]が4 : 3のとき	
L:18M	4864×3648画素
M:10M	3648×2736画素
S:5.0M	2592×1944画素
VGA	640×480画素

📷横縦比]が16 : 9のとき	
L:17M	5472×3080画素
M:7.5M	3648×2056画素
S:4.2M	2720×1528画素

📷横縦比]が1 : 1のとき	
L:13M	3648×3648画素
M:6.5M	2544×2544画素
S:3.7M	1920×1920画素

📌ご注意

- 📷画質]で[RAW]、[RAW+JPEG]を選ぶと、RAW画像の画像サイズはL相当となります。

MENU → **📷1 (撮影設定1)** → [**🖼️ 画質**] → **希望の設定を選ぶ。**

RAW : ファイル形式 : RAW (圧縮Raw形式で記録)

デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときを選ぶ。

- 画像サイズは常に最大サイズで固定され、モニターには画像サイズは表示されない。

RAW+JPEG : ファイル形式 : RAW (圧縮Raw形式で記録) + JPEG

RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像を使うなど、両方の画像を記録したい場合に便利。JPEGの画質は[ファイン]になる。

エクストラファイン : ファイル形式 : JPEG

画像がJPEG形式で圧縮され、[ファイン]よりきれいな画質で記録される。

ファイン : ファイル形式 : JPEG

画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。

スタンダード : ファイル形式 : JPEG

画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。[スタンダード]は[ファイン]に比べて圧縮率が高くなるためデータ量が少なくなる。1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

RAWについて

- 本機で撮影したRAW画像を開くにはImage Data Converterが必要です。このソフトウェアを使えば、RAW画像を開いたあと、JPEGやTIFFのような一般的なフォーマットに変換したり、ホワイトバランス、彩度、コントラストなどを再調整することができます。
- RAW形式の画像には、[オートHDR]、[ピクチャーエフェクト]を設定できません。

ご注意

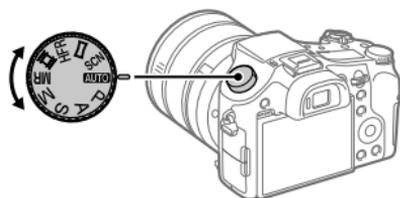
- パソコンでの加工を予定していない場合は、JPEG形式で記録することをおすすめします。
- RAW画像には、DPOF (プリント予約) 指定できません。

撮影モードを変える

モードダイヤルの機能一覧

被写体や撮影の目的に合わせて、撮影モードを変えることができます。

モードダイヤルを回して、希望の撮影モードを選ぶ。



設定できる機能

AUTO (オートモード)	本機が適切だと判断した値で設定され、被写体や環境を選ばずに、手軽に撮影できる。
P (プログラムオート)	露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定するが、その他の設定は自分で調整できる。
A (絞り優先)	背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。
S (シャッタースピード優先)	動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。
M (マニュアル露出)	露出(シャッタースピードと絞り)を調節して、好みの露出で撮影する。
MR (登録呼び出し)	あらかじめ登録しておいた、よく使うモードや数値の設定を呼び出して撮影できる。
MOVIE (動画)	動画撮影の露出モードを設定して、動画を撮影できる。
HFR (ハイフレームレート)	記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することで、なめらかなスーパースロー映像を記録できる。
SP (スイングパノラマ)	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
SCN (シーンセレクション)	撮りたい被写体や環境に合ったモードを選ぶと、被写体に適した設定で撮影できる。

オートモードを切り替える(オートモード)

本機には[おまかせオート]と[プレミアムおまかせオート]の2つのオート撮影モードが搭載されています。被写体やお好みに合わせて、オートモードを切り替えて撮影できます。

1 モードダイヤルをAUTOにする。

2 MENU → 1 (撮影設定1) → [オートモード] → 希望の設定を選ぶ。

i  おまかせオート: カメラまかせでシーン認識をして撮影したいときに使います。

i + プレミアムおまかせオート: カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき、特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影したいときに使います。

ご注意

- [プレミアムおまかせオート]では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。このとき、+ (重ね合わせアイコン)が表示され、シャッター音が複数回聞こえることがありますが、記録される画像は1枚です。
- [プレミアムおまかせオート]で+ (重ね合わせアイコン)が表示されているときは、複数枚の撮影が終わるまでカメラを動かさないようにしてください。
- [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません。

P プログラムオート

露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定します。
[ISO感度]などの撮影機能を好みの設定に変更できます。

1 モードダイヤルをP (プログラムオート)にする。

2 撮影機能を希望の設定にする。

3 ピントを合わせて撮影する。

■ プログラムシフト

フラッシュを使用していないときに、カメラが設定した適正露出のままシャッタースピードと絞り(F値)の組み合わせを変更できます。コントロールダイヤルを回し、絞り値とシャッタースピードの組合せを選んでください。

- コントロールダイヤルを回すと、モニターの表示が「P」から「P*」に変わります。
- 解除するには、撮影モードを[プログラムオート]以外にするか、本機の電源を切ってください。

ご注意

- 撮影する環境の明るさによって、プログラムシフトができない場合があります。
- 撮影モードを「P」以外にするか、電源を切ると設定は解除されます。
- 明るさが変わるとシャッタースピードと絞り(F値)はプログラムシフトの組み合わせを保持したまま変化します。

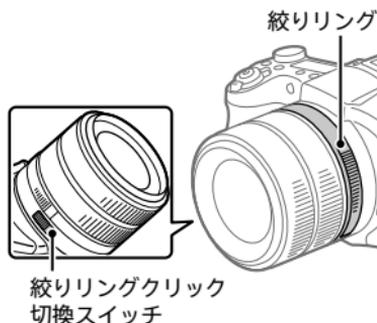
A 絞り優先

ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

1 モードダイヤルをA (絞り優先)にする。

2 絞りリングで希望の数値を選ぶ。

- 絞り値を小さくする：被写体の前後がぼける。
絞り値を大きくする：被写体の前後までくっきりとピントが合う。
- 設定した絞り値で適正露出にならないと本機が判断した場合は、シャッタースピードが点滅します。この場合は、絞り値を変更してください。



3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、シャッタースピードが自動的に設定される。

絞りリングについて

焦点距離によって開放F値が変化します。絞りリングで開放F値よりも小さい値に設定しても、開放F値以上に絞りを開けることはできません。正しいF値はモニターの設定値表示で確認してください。

ヒント

- 絞りリングクリック切換スイッチで、絞りリングのクリック感を変更できます。静止画撮影時は「ON」に、動画撮影時は「OFF」にしてください。

ご注意

- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。
- 回折現象による解像劣化を伴いますので、解像を気にされる場合は、F2.4～F8での使用をおすすめします。

S シャッタースピード優先

シャッタースピードを調整し、動きを止めて写したり、軌跡を写したりするなど動くものの表現を変えた撮影ができます。

1 モードダイヤルをS (シャッタースピード優先)にする。

2 コントロールダイヤルで希望の数値を選ぶ。

- 設定したシャッタースピードで適正露出にならないと本機が判断した場合は、絞り値が点滅します。この場合は、シャッタースピードを変更してください。

3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、絞り値が自動的に設定される。

ヒント

- シャッタースピードを遅くするときは手ブレを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- 室内スポーツを撮影するときは、ISO感度を高くしてください。

ご注意

- シャッタースピード優先モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- [シャッター方式]が[電子シャッター]以外で、[長時露光]を[入]にしているときは、シャッタースピードを1/3秒または1/3秒より遅くして撮影(長時間露光)すると、シャッターを開けていた時間と同時間のノイズ軽減処理をします。処理中は撮影できません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

M マニュアル露出

絞り値とシャッタースピードの両方を調節して、自分の好みの露出で撮影できます。

1 モードダイヤルをM (マニュアル露出)にする。

2 絞りリングを回して、絞り値を選ぶ。

コントロールダイヤルを回して、シャッタースピードを選ぶ。

- マニュアル露出モードでも [ISO感度] を [ISO AUTO] に設定できます。調整した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO感度が変化します。
- [ISO感度] を [ISO AUTO] に設定したとき、設定した値で適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度の表示が点滅します。この場合はシャッタースピードまたは絞り値を変更してください。
- [ISO感度] が [ISO AUTO] 以外の場合、「MM」(メータードマニュアル) *で露出値を確認できます。

+側：明るく写る。

-側：暗めに写る。

0：本機が判断した適正露出。

* 適正露出に対するアンダー/オーバーを示します。モニターでは数値で、ファインダーでは測光インジケータで表示されます。

3 ピントを合わせて撮影する。

ヒント

- AELボタンを押しながら絞りリングを回すと、設定した露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます。(マニュアルシフト)

ご注意

- [ISO感度]を[ISO AUTO]にしたときは、メータードマニュアルは表示されません。
- メータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- マニュアル露出モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

Mバルブ撮影

長時間露光で、動きの軌跡を撮影できます。

星の軌跡や、花火の光が尾を引くような写真を撮る場合に適しています。

1 モードダイヤルをM (マニュアル露出)にする。

2 [BULB]が出るまでコントロールダイヤルを左に回す。

3 絞りリングで絞り値(F値)を選ぶ。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。

5 必要な時間、シャッターボタンを押し続けて撮影する。

シャッターボタンを押し続けている間、シャッターが開いたままになる。

ヒント

- 打ち上げ花火などのときは、マニュアルフォーカスにしてピントを無限遠にしてください。
- 画質を低下させずにバルブ撮影を行うためには、本機の温度が下がった状態で撮影を開始することをおすすめします。
- 画像がブレやすくなるため、三脚やシャッターボタンのロック機能を持つ対応リモートコマンダー (別売)のご使用をおすすめします。リモートコマンダーはマルチ/マイクロUSB端子での接続に対応したものをお使いください。

ご注意

- 露光時間が長いほど、画面内のノイズは目立ちやすくなります。
 - 撮影後はシャッターが開いていた時間分だけ、ノイズ軽減処理が行われます。処理中は撮影できません。
 - 以下の場合にはシャッタースピードを[BULB]に設定できません。
 - [スマイルシャッター]
 - [オートHDR]
 - [ピクチャーエフェクト]が[絵画調HDR]または[リッチトーンモノクロ]
 - [マルチショットNR]
 - [ドライブモード]が以下のとき
 - [連続撮影]
 - [セルフタイマー (連続)]
 - [連続ブラケット]
 - [📷シャッター方式]が[電子シャッター]
- シャッタースピードを[BULB]に設定しているときに上記機能を使用すると、シャッタースピードは一時的に30秒になります。

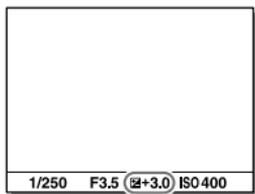
露出補正

通常は、露出が自動的に設定されます(自動露出)。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると画像全体を明るく、-側に補正すると画像全体を暗くできます(露出補正)。

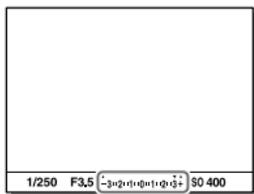
露出補正ダイヤルを回す。

- + (オーバー)側：画像が明るくなる。
- (アンダー)側：画像が暗くなる。
- -3.0 EV ~ +3.0 EVの範囲で値を設定できます。
- 設定した露出補正値は撮影画面で確認できます。

露出補正ダイヤル



モニター表示



ファインダー表示

■ MENUで設定するには

露出補正ダイヤルが0のときに、-3.0EV ~ +3.0EVの間で値を設定できます。

MENU →  (撮影設定1) → [露出補正] → 希望の設定を選ぶ。

ご注意

- 撮影モードが以下のときは、露出補正できません。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
- [マニュアル露出]時は、[ISO感度]が[ISO AUTO]のときのみ露出補正できます。
- 露出補正ダイヤルとメニューの[露出補正]では、露出補正ダイヤルの設定が優先されます。
- 動画撮影時は-2.0EVから+2.0EVの範囲で調整できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、十分な効果が得られないことがあります。
- 露出補正ダイヤルを0以外から0に合わせた場合、[露出補正]の設定にかかわらず、露出補正值は0になります。

ISO感度を選ぶ

光に対する感度は、ISO感度(推奨露光指数)で表します。数値が大き
いほど高感度になります。

MENU →  **1 (撮影設定1)** → **[ISO感度]** → **希望の設定を選ぶ。**

マルチショットNR: 連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。コントロールホイールの右を押して設定画面を表示させ、上/下で希望の数値を選ぶ。ISO AUTO、ISO 100 ~ ISO 25600の中から希望の数値を選ぶ。

ISO AUTO: カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。

ISO 64 ~ ISO 12800: お好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大き
いほど高感度になる。

ヒント

- [ISO AUTO]時に自動設定されるISO感度の範囲を変更できます。[ISO AUTO]を選択したときに、コントロールホイールの右を押して、[ISO AUTO 上限] / [ISO AUTO 下限]を選んで希望の数値を設定してください。この設定は [マルチショットNR]の [ISO AUTO]時にも反映されます。
- [マルチショットNR]の [NR効果]で、ノイズリダクションの強さを設定できます。

ご注意

- [画質]が [RAW]、[RAW+JPEG]のとき、[マルチショットNR]は設定できません。
- [マルチショットNR]を選んでいるとき、フラッシュ、[Dレンジオプティマイザー]、[オートHDR]は使用できません。
- [ピクチャープロファイル]が [切]以外のとき、[マルチショットNR]は設定できません。
- [ピクチャーエフェクト]が [切]以外のとき、[マルチショットNR]は設定できません。
- 以下のときは、[ISO AUTO]に設定されます。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
 - [スイングパノラマ]

- ISO100未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲(ダイナミックレンジ)が少し狭くなります。
- ISO感度が高くなるほど、ノイズが増えます。
- 静止画撮影時、動画撮影時、またはHFR撮影時で、選べる設定が異なります。
- 動画撮影時はISO100～ISO12800の範囲で選べます。ISO100よりも小さい値の状態動画撮影を始めると、ISO100に切り替わります。動画撮影を終えると元のISO値に戻ります。
- [マルチショットNR]を使用すると、重ね合わせ処理のため、記録処理に時間がかかります。
- 撮影モードが「P」、「A」、「S」、「M」のとき、ISO感度を[ISO AUTO]にすると、設定された範囲内で自動設定されます。

ズームする

後レンズリングやW/T（ズーム）レバーで、画像を拡大して撮影します。

後レンズリングを回す、またはW/T（ズーム）レバーを動かして被写体を拡大する。

- 後レンズリングは、右に回転させるとズームし、左に回転させると戻る。
- W/T（ズーム）レバーは、T側にレバーを動かすとズームし、W側にレバーを動かすと戻る。

ヒント

- [ズーム設定]で[光学ズームのみ]以外を選ぶと、光学ズームの倍率を超えてズームできます。
- MENU → 2（撮影設定2） → [レンズリングの設定]で、ズーム機能を前レンズリングに割り当てすることもできます。
- MENU → 2（撮影設定2） → [ズームリング操作方向]で、ズーム機能が割り当てられたレンズリングの回転方向に対して、W/Tの割り当てを設定できます。

ズーム設定

本機で行うズーム範囲を設定できます。

MENU → 2（撮影設定2） → [ズーム設定] → 希望の設定を選ぶ。

光学ズームのみ：ズーム範囲を光学ズームの範囲内に制限します。

[画像サイズ]がM、SまたはVGAの場合のみ、スマートズーム範囲も使用できます。

入：全画素超解像ズーム：全画素超解像ズーム範囲まで使用する場合はこの設定を選びます。光学ズーム範囲を超えても、画質がほとんど劣化しません。

入：デジタルズーム：全画素超解像ズーム倍率を超えた場合に、画質は劣化するが、最大倍率が大きいズームを行えます。

ご注意

- 画質が劣化しない範囲でのみズームしたい場合は、[光学ズームのみ]を設定してください。

ズーム倍率について

画像サイズによって、レンズのズーム倍率に組み合わされる倍率は変わります。

[横縦比]が[3:2]の場合

ズーム設定 画像サイズ	光学ズームのみ (スマートズーム)	入：全画素超解像 ズーム	入：デジタルズーム
L:20M	—	約2.0倍	約4.0倍
M:10M	約1.4倍	約2.8倍	約5.6倍
S:5.0M	約2.0倍	約4.0倍	約8.0倍

ホワイトバランス

撮影環境での光の色の影響を補正して、白いものを白く写すための機能です。画像の色合いが思った通りにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに使います。

MENU → **1 (撮影設定1)** → **[ホワイトバランス]** → **希望の設定を選ぶ。**

AWB **オート** / **太陽光** / **日陰** / **曇天** / **電球** /
☹-1 蛍光灯：温白色 / **☹0 蛍光灯：白色** / **☹+1 蛍光灯：昼白色** /
☹+2 蛍光灯：昼光色 / **フラッシュ**：被写体を照らしている光源を選ぶと、選んだ光源に適した色あいになる（プリセットホワイトバランス）。[オート]を選ぶと本機が光源を自動判別し、適した色合いに調整する。

色温度・カラーフィルター：光源の色に合わせて設定する（色温度）。写真用のCC（色補正）フィルターと同等の効果が得られる（カラーフィルター）。

カスタム 1/カスタム 2/カスタム 3：[カスタムセット]で取得した設定を使用する。

SET カスタムセット：撮影する光源下で基準になる白色を取得する。登録先の番号を選び決定する。

ヒント

- コントロールホイールの右で、微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
- 選んだ設定で思い通りの色にならないときは、ホワイトバランスブラケット撮影を行います。
- **AWB** 、**AWB** は[AWB時の優先設定]を[雰囲気優先]または[ホワイト優先]に設定したときのみ表示されます。

ご注意

- 以下のときは、[ホワイトバランス]は[オート]に固定されます。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
- 水銀灯やナトリウムランプのみが光源の場合、光の特性上、正確なホワイトバランスが得られません。フラッシュを発光して撮影するか、[カスタムセット]のご使用をおすすめします。

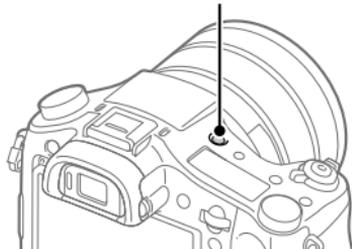
フラッシュを使う

暗い場所での撮影や逆光での撮影では、フラッシュを使うと被写体を明るく写せます。また、手ブレを抑えるのにも役立ちます。

1 (フラッシュポップアップ) ボタンを押して、発光部を上げる。

- フラッシュは自動ではポップアップしません。

(フラッシュポップアップ)ボタン



撮影

2 シャッターボタンを押して撮影する。

- 設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

■フラッシュを使わないときは

フラッシュを使用しない場合は、手でフラッシュ発光部を下げてください。

ご注意

- フラッシュ光がレンズでさえぎられて、写真下部に影ができることがあります。レンズフードを取りはずしてください。
- フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、故障の原因となることがあります。
- 動画撮影時はフラッシュは使用できません。(LEDライトを内蔵しているフラッシュ(別売)をお使いの場合、LEDライトは使用できます。)
- 別売のフラッシュをマルチインターフェースシューに取り付けると、別売のフラッシュの状態が優先されます。本機内蔵のフラッシュは使用できません。

- フラッシュなどのアクセサリーをマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。
- マルチインターフェースシューに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。
- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合は被写体から離れて撮影するか、ズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。
- 対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/connect/>

フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定できます。

MENU → **📷1 (撮影設定1)** → **[フラッシュモード]** → **希望の設定を選ぶ。**

🚫 発光禁止：フラッシュを発光させない。

AUTO 自動発光：光量不足や逆光と判断したとき発光する。

🚫 強制発光：必ず発光する。

SLOW スローシンクロ：必ず発光する。スローシンクロでシャッタースピードを遅くして撮ると、被写体だけでなく、背景も明るく撮れる。

REAR 後幕シンクロ：露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車や歩いている人など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

🚫 ワイヤレス：本機のフラッシュを使用して撮影したときよりも被写体に陰影がついて立体感を出すことができる。

本機にコントローラー対応外部フラッシュ（別売）を取り付け、別のワイヤレスフラッシュ（別売）を本機から離れたところに設置して撮影する。

ご注意

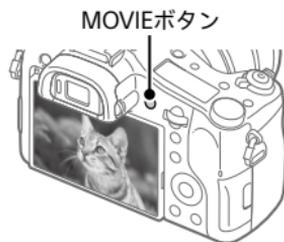
- 初期値は撮影モードによって変わります。
- 撮影モードによっては選べない[フラッシュモード]があります。
- 内蔵フラッシュではワイヤレスフラッシュ撮影できません。

動画を撮影する

MOVIE（動画）ボタンを押して動画撮影できます。

1 MOVIEボタンを押して撮影を開始する。

- お買い上げ時の設定では、[MOVIE（動画）ボタン]が[常に有効]に設定されているため、すべての撮影モードから動画撮影を開始できます。



2 もう一度MOVIEボタンを押して終了する。

ヒント

- 動画撮影開始/停止機能をお好みのキーに割り当てることができます。MENU → 2（撮影設定2）→ [カスタムキー（撮影）] → 希望のボタンに動画撮影開始/停止機能を設定してください。
- ピントを合わせるエリアを指定したいときは、[フォーカスエリア]で設定します。
- 顔にピントを合わせ続けたい場合は、フォーカスエリア枠と顔検出枠が重なるように構図を工夫します。または[フォーカスエリア]を[ワイド]に設定します。
- シャッタースピードや絞りを希望の値に設定したいときは、撮影モードを （動画）にして、希望の露出モードを選択してください。
- 以下の設定は、静止画撮影のときの設定値をそのまま使用できます。
 - ホワイトバランス
 - クリエイティブスタイル
 - 測光モード
 - 顔検出/スマイルシャッター
 - Dレンジオブティマイザー
- ISO感度、露出補正、フォーカスエリアは動画撮影中に設定を変更できます。
- [HDMI情報表示]を[なし]にすると、動画記録中でも撮影情報表示なしで記録画像を出力できます。

ご注意

- 動画記録中はカメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。特に[ズームスピード]を[高速]に設定している場合や[リングのズーム機能]を[クイック]に設定している場合、動画記録中のズーム音が記録されやすくなります。MENU →  2 (撮影設定2) → [音声記録] → [切]で音声を記録しないように設定できます。
- 動画撮影時、ご使用状況によってはショルダーストラップ取り付け部(三角環)の音が記録されることがあります。
- 連続して撮影している場合は、本機の温度が上昇しやすく、温かく感じる場合がありますが故障ではありません。
また、[しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください]という表示が出る場合があります。その場合は、本機の電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってから撮影してください。
-  が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 連続撮影可能時間は「動画の記録可能時間」(113ページ)をご覧ください。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。本体やバッテリーの温度によっては、機器保護のため停止する場合があります。
- モードダイヤルが  (動画) になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[ロックオンAF]は選択できません。
- 動画の[プログラムオート]モードでは、絞りとシャッタースピードは自動で設定され変更できません。よって、明るい環境下で高速シャッターとなり、被写体の動きが滑らかに写らない場合があります。他の露出モードにして、絞りやシャッタースピードを調整することで、より滑らかに撮影できる場合があります。
- 動画撮影時のISO感度は、ISO100 ~ ISO12800まで選べます。ISO100よりも小さい設定値の状態動画撮影を始めると、ISO100に切り替わります。動画撮影を終えると元の設定値に戻ります。
- ISO感度を[マルチショットNR]に設定しているときは、一時的に[ISO AUTO]になります。
- 動画撮影時、以下の[ピクチャーエフェクト]は設定できません。動画撮影が開始されると一時的に[切]になります。
 - ソフトフォーカス
 - 絵画調HDR
 - リッチトーンモノクロ
 - ミニチュア
 - 水彩画調
 - イラスト調
- 低感度の動画撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。

- モニターの表示がファインダー撮影用の場合、動画撮影を開始すると全情報表示に切り替わります。
- XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込むときは、PlayMemories Homeを使用してください。

記録方式

動画を記録するときの記録方式を設定します。

MENU → **2 (撮影設定2)** → **記録方式** → **希望の設定を選ぶ。**

記録方式	特徴	
XAVC S 4K	4K解像度(3840×2160)で記録できます。	ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存できます。
XAVC S HD	AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。	ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存できます。
AVCHD	パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。	ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存または対応メディアを作成できます。

このフォーマットで記録できるメモリーカードについては、111ページをご覧ください。

ご注意

- **記録方式**が[AVCHD]の場合は、1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に新しいファイルが作成されます。
- **記録方式**を[XAVC S 4K]に設定し、本機をHDMI機器に接続しながら動画を撮影すると、モニターには画像が表示されません。

記録設定

動画撮影時のフレームレートとビットレートを設定します。

MENU → **カメラ2 (撮影設定2)** → **記録設定** → 希望の設定を選ぶ。

- ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。
- 各記録設定時の最大記録時間の目安は113ページをご覧ください。

記録方式が[XAVC S 4K]のとき

記録設定	ビットレート	説明
30p 100M	約100 Mbps	3840×2160 (30p)で撮影する。
30p 60M	約60 Mbps	3840×2160 (30p)で撮影する。
24p 100M	約100 Mbps	3840×2160 (24p)で撮影する。
24p 60M	約60 Mbps	3840×2160 (24p)で撮影する。

記録方式が[XAVC S HD]のとき

記録設定	ビットレート	説明
60p 50M	約50 Mbps	1920×1080 (60p)で撮影する。
60p 25M	約25 Mbps	1920×1080 (60p)で撮影する。
30p 50M	約50 Mbps	1920×1080 (30p)で撮影する。
30p 16M	約16 Mbps	1920×1080 (30p)で撮影する。
24p 50M	約50 Mbps	1920×1080 (24p)で撮影する。
120p 100M	約100 Mbps	1920×1080 (120p)のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できる。 • 対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。
120p 60M	約60 Mbps	1920×1080 (120p)のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できる。 • 対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。

[**画質** 記録方式]が[AVCHD]のとき

画質 記録設定	ビットレート	説明
60i 24M (FX)	最大24 Mbps	1920×1080 (60i)で撮影する。
60i 17M (FH)	平均約17 Mbps	1920×1080 (60i)で撮影する。

ご注意

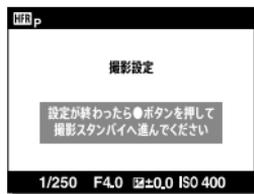
- [画質 記録設定]を[60i 24M (FX)]にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。
- 以下のとき、[120p]は選べません。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [シーンセレクション]
- HFR撮影時の記録設定は、67ページをご覧ください。

スーパースローモーション撮影をする (ハイフレームレート設定)

記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することによって、なめらかなスーパースローモーション映像を記録できます。

1 モードダイヤルをHFR (ハイフレームレート)にする。

撮影設定画面が表示される。



2 MENU → 2 (撮影設定2) → [HFRハイフレームレート設定] を選び、[HFR記録設定]、[HFRフレームレート]、[HFR優先設定]、[HFR録画タイミング]を希望の設定にする。

HFR記録設定：記録する動画のフレームレートを[60p 50M]、[30p 50M]、[24p 50M]から選ぶ。

HFRフレームレート：撮影時のフレームレートを[240fps]、[480fps]、[960fps]から選ぶ。

HFR優先設定：画質を優先する[画質優先]か、撮影時間が長くなる[撮影時間優先]かを選ぶ。

HFR録画タイミング：MOVIEボタンを押してからある一定の時間を記録するか([スタートトリガー])、または、MOVIEボタンを押すまでのある一定の時間を記録するか([エンドトリガー]/[エンドトリガー-half])を選ぶ。

MENU → 2 (撮影設定2) → [HFR露出モード]を選び、希望の露出モードに設定することができます。

3 被写体にカメラを向け、ピントなどを合わせる。

- フォーカスモード、ISO感度など、そのほかの撮影設定も変更することができます。

4 コントロールホイールの中央を押す。

撮影スタンバイ画面が表示される。

- 撮影スタンバイ中は、画面の中央に[撮影スタンバイ]が表示されます。[撮影スタンバイ]が表示されている間は、露出の調整、フォーカスの調整、ズーム操作などはできません。撮影設定を変更したい場合は、もう一度コントロールホイールの中央を押して撮影設定画面に戻ってください。



5 MOVIEボタンを押す。

[HFR録画タイミング]が[スタートトリガー]のとき：

取り込み(撮影)がスタートする。再度MOVIEボタンを押すか、録画可能時間を過ぎたときに取り込みが終了し、メモリーカードへ記録される。

[HFR録画タイミング]が[エンドトリガー]/[エンドトリガーハーフ]のとき：

取り込みが終了し、メモリーカードへ記録される。

■録画のタイミングについて

[HFR録画タイミング]の設定により、MOVIEボタンを押すタイミングと録画される動画の時間の関係は以下のようになります。

スタートトリガー

MOVIEボタンを押したタイミングで取り込み(撮影)を開始します。MOVIEボタンをもう一度押すか最大録画可能時間が経過すると、取り込みが終了しメモリーカードへの記録が開始されます。



エンドトリガー / エンドトリガーハーフ

撮影スタンバイ画面になった時点からバッファリング(動画を一時的にカメラ内部に撮りためておくこと)を開始します。撮影データがバッファリング容量いっぱいになると、古いデータから順に上書きされます。MOVIEボタンを押すと、その時点から遡って一定時間分の動画がメモリーカードに記録されます。

- [エンドトリガー]のときは最大録画可能時間分の動画が、
[エンドトリガーハーフ]のときは最大録画可能時間の半分の時間分の動画が記録されます。[エンドトリガーハーフ]は、メモリーカードへの記録にかかる時間も[エンドトリガー]に比べて短くなります。



*メモリーカードに記録中は、次の撮影は行えません。

■撮影をやり直したいときは

記録中の画面で[キャンセル]を選ぶと、記録を中止できます。ただし、中止したところまでの動画は保存されます。

■再生速度について

[HFRフレームレート]と[HFR記録設定]の設定によって、再生速度は以下のようになります。

HFRフレームレート	HFR記録設定		
	24p 50M	30p 50M	60p 50M
240fps	10倍スロー	8倍スロー	4倍スロー
480fps	20倍スロー	16倍スロー	8倍スロー
960fps	40倍スロー	32倍スロー	16倍スロー

■ [HFR優先設定]と撮影時間について

HFR優先設定	HFRフレームレート	イメージセンサー 読み出し有効画素数	撮影時間
画質優先	240fps	1824×1026	約4秒
	480fps	1824×616	約3秒
	960fps	1244×420	
撮影時間優先	240fps	1824×616	約7秒
	480fps	1292×436	
	960fps	912×308	約6秒

■ 再生時間について

例えば、[HFR記録設定]を[24p 50M]、[HFRフレームレート]を[960fps]、[HFR優先設定]を[撮影時間優先]に設定し、約4秒間撮影した場合、再生速度は40倍スローとなることから、再生時間は約160秒(約2分40秒)になります。

■ ご注意

- 音声は記録されません。
- 記録される動画はXAVC S HDフォーマットになります。使用できるメモリーカードは、「使用できるメモリーカード」(111ページ)をご覧ください。
- MOVIEボタンを押してから記録が終わるまでに時間がかかる場合があります。撮影スタンバイ画面に切り替わるまで待って、次の撮影を行ってください。

プロキシー記録

XAVC S動画を記録するとき、低ビットレートのプロキシー動画を同時に記録するかどうかを設定します。

プロキシー動画はファイルサイズが小さいため、スマートフォンへの転送やWebサイトへのアップロードに適しています。

MENU →  **2 (撮影設定2)** → [**Px** プロキシー記録] → **希望の設定を選ぶ。**

入：プロキシー動画を同時に記録する。

切：プロキシー動画を同時に記録しない。

ヒント

- プロキシー動画は、XAVC S HDフォーマット(1280×720) 9Mbpsで記録されます。プロキシー動画のフレームレートはオリジナル動画と同じになります。
- 再生画面(1枚再生画面または一覧表示画面)には、プロキシー動画は表示されません。プロキシー動画が同時に記録された動画には、**Px**が表示されます。

ご注意

- プロキシー動画は本機では再生できません。
- 下記の場合はプロキシー記録はできません。
 - **[日時]** 記録方式]が[AVCHD]のとき
 - **[日時]** 記録方式]が[XAVC S HD]で、**[日時]** 記録設定]が[120p]のとき
 - **[日時]** 手ブレ補正]が[インテリジェントアクティブ]のとき
- プロキシー動画がある動画を削除/プロテクトすると、オリジナル動画とプロキシー動画の両方が削除/プロテクトされます。オリジナル動画だけ、またはプロキシー動画だけを削除/プロテクトすることはできません。
- 使用できるメモリーカードについては、111ページをご覧ください。

画像を見る

静止画を再生する

撮影した静止画を再生します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする。

2 コントロールホイールで画像を選ぶ。

- 連続撮影した画像は1つのグループとして表示されています。グループ内の画像を再生する場合は、コントロールホイールの中央を押してください。
-

ヒント

- 本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。管理ファイルに未登録の画像は正しく表示されないことがあります。他機で撮影した画像を見るときは、MENU →  (セットアップ) → [管理ファイル修復]で管理ファイルに画像を登録してください。
- 連続撮影後に画像をすぐに再生すると、モニターにデータ書き込み中/書き込み残り枚数を示すアイコンが表示されることがあります(100ページ)。書き込み中は、一部の機能を使用できません。
- モニターをダブルタップすると、画像を拡大できます。また、拡大位置はモニターをドラッグして動かすこともできます。あらかじめ、[タッチ操作]を[切]以外に設定してください。

動画を再生する

撮影した動画を再生します。

1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。

2 コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央を押して再生する。

■ 動画再生中にできること

コントロールホイールの下を押すと、スロー再生、音量調整などの操作を行えます。

操作パネル	できること
	再生
	一時停止
	早送り
	早戻し
	スロー再生
	スロー逆再生
	次の動画
	前の動画

操作パネル	できること
	コマ送り
	コマ戻し
	モーションショットビデオ(動きのある被写体の残像表示)
	動画から静止画作成
	音量設定
	操作パネルを閉じる

ヒント

- スロー再生、スロー逆再生、コマ送り、コマ戻しは、一時停止中に選ぶことができません。
- 本機以外で撮影された動画ファイルは再生できない場合があります。

一覧表示で再生する(一覧表示)

再生時、複数の画像を同時に表示できます。

**1 W/T (ズーム)レバーをW側に
にする。**



2 コントロールホイールの上/下/左/右を押したり、コントロールホイールを回したりして、画像を選ぶ。

■ 表示する枚数を変更する場合

MENU →  (再生) → [一覧表示] → 希望の設定を選ぶ。

9枚/25枚

■ 1枚再生画面に戻すには

表示したい画像を選んでいる状態で、コントロールホイールの中央を押す。

■ 希望の画像をすばやく表示するには

コントロールホイールで左側のバーを選び、コントロールホイールの上/下でページを送ることができます。バーを選んでいる状態で、中央を押すと、カレンダー画面、またはフォルダー選択画面が表示されます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます。

画像を削除する

表示中の画像を削除する

表示されている画像を削除します。一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

1 削除したい画像を表示する。

2  (削除) ボタンを押す。

3 コントロールホイールで [削除] を選ぶ。

ご注意

- プロテクトされている画像は削除できません。

よく使う設定を登録する

📷1/📷2の登録

よく使うモードやカメラの設定を、本機に3つまで、メモリーカードには4つ(M1～M4)まで登録でき、モードダイヤルで簡単に呼び出せます。

1 本機を登録したい設定にする。

2 MENU → 📷1 (撮影設定1) → [📷1/📷2の登録] → 登録先の番号を選ぶ。

3 コントロールホイールの中央で決定する。

■ 登録できる項目

- 撮影に関する様々な機能を登録できます。実際の登録可能な項目は、本機のメニューで確認してください。
- シャッタースピード
- 光学ズーム倍率

■ 登録した内容を変更するには

希望する設定に変更し、同じ番号に再登録してください。

■ ご注意

- M1～M4は本機にメモリーカードが挿入されている場合のみ選択できます。
- プログラムシフトは登録できません(46ページ)。
- 一部の機能については、本機のダイヤルの位置と実際に撮影に使われる設定が一致しなくなります。本機のモニター情報をもとに撮影してください。

ボタンにお好みの機能を割り当てる

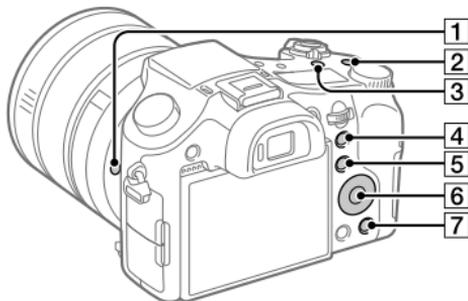
カスタムキー（撮影） / カスタムキー（再生）

希望のボタンにお好みの機能を割り当てることができます。また、カスタムキーでのみ使える機能もあります。たとえば、[カスタムキー（撮影）]で[中央ボタン]に[瞳AF]を割り当てておくと、撮影時にコントロールホイールの中央を押すだけで[瞳AF]機能呼び出すことができ便利です。

1 MENU →  2 (撮影設定2) → [カスタムキー（撮影）]または [カスタムキー（再生）]を選ぶ。

2 選択画面で機能を割り当てたいボタンを選び、コントロールホイールの中央を押す。

- [カスタムキー（撮影）]と[カスタムキー（再生）]で機能を割り当てられるボタンが異なります。
- 以下のボタンに希望の機能を割り当てられます。



- 1 フォーカスホールドボタン
- 2 カスタムボタン1
- 3 カスタムボタン2
- 4 AELボタン
- 5 Fn/ボタン
- 6 コントロールホイール/中央ボタン/下ボタン/左ボタン/右ボタン
- 7 カスタムボタン3

3 割り当てたい機能を選ぶ。

- ボタンによって割り当てられる機能が異なります。
-

ファンクションメニュー設定

Fn (ファンクション) ボタンを押したときに設定できる機能を選びます。

MENU → 2 (撮影設定2) → [ファンクションメニュー設定]
→ 希望の場所に機能を設定する。

- 設定できる機能は、本機の設定項目選択画面でご確認ください。
-

Wi-Fi/NFCワンタッチ/Bluetooth機能を使う

本機のWi-Fi/NFCワンタッチ/Bluetooth機能を使って、以下のようなことができます。

- パソコンに画像を保存する
- スマートフォンに画像を転送する
- スマートフォンをカメラのリモコンとして使う
- テレビで静止画を鑑賞する
- スマートフォンの位置情報を画像に記録する

詳しい操作方法は、ヘルプガイド(3ページ)または別紙の「Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド」をご覧ください。

PlayMemories Mobileをインストールする

本機とスマートフォンを接続するには、PlayMemories Mobileが必要です。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

PlayMemories Mobileの詳細は、PlayMemories Mobileのサポートページ(<http://www.sony.net/pmm/>)をご覧ください。



ご注意

- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したAndroidのスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- 本機のWi-Fi機能は公衆無線LANに接続して使用することはできません。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

画像に位置情報を記録する

PlayMemories Mobileアプリを使って、Bluetooth通信で接続しているスマートフォンから位置情報を取得して、画像撮影時に位置情報を記録します。

詳しい操作方法は、ヘルプガイド(3ページ)または以下のサポートページをご覧ください。



<http://www.sony.net/pmm/btg/>

パソコン用ソフトウェアの紹介

写真や動画をより楽しむために、以下のパソコン用ソフトウェアを提供しています。パソコンのインターネットブラウザで下記のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードしてご利用ください。すでにインストール済みの場合も、最新版にアップデートしてご利用ください。

Windows :

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/>

Mac :

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

それぞれのソフトウェアの推奨パソコン環境は、以下のURLよりご確認ください。
<http://www.sony.net/pcenv/>

PlayMemories Home

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込む場合は、PlayMemories Homeが必要です。

以下のURLからダウンロードページに直接アクセスできます。

<http://www.sony.net/pm/>

- 本機とパソコンを接続すると、PlayMemories Homeに機能が追加される場合があります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを一度接続することをおすすめします。

Image Data Converter

RAW画像を現像し、トーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集したりすることができます。

Remote Camera Control

USBケーブルで本機と接続したパソコンから本機の設定をしたり撮影するなどのコントロールができます。

Remote Camera Controlを使うには、USBケーブルで本機をパソコンに接続する前に、MENU →  (セットアップ) → [USB接続] → [PCリモート]を選んでください。

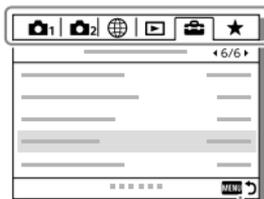
MENUの使いかた

撮影、再生、操作方法など、カメラ全体に関する設定を変更したり、カメラの機能を実行します。

- 1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。



- 2 コントロールホイールの上/下/左/右を押す、またはコントロールホイールを回して設定したい項目を選び、中央を押す。



画面上部のアイコンを選んでコントロールホイールの左/右を押すと、他のMENUへ移動できます。



MENUボタンを押すと一つ前の画面へ戻ります。

- 3 設定値を選択して、中央を押して決定する。

MENU一覧

各MENU項目についての詳細は、一番右の列に書かれているページまたはヘルプガイドをご覧ください。

📷1 (撮影設定1)

赤色タブ

画質/画像サイズ		
 画質	静止画の画質を設定する。([RAW] / [ファイン]など)	43
 画像サイズ	静止画のサイズを選択する。(L/M/S)	42
 横縦比	静止画の横縦比を選択する。	ヘルプ ガイド
パノラマ：画像サイズ	パノラマ画像のサイズを選択する。	ヘルプ ガイド
パノラマ：撮影方向	パノラマの撮影方向を設定する。	ヘルプ ガイド
 長秒時NR	シャッタースピードを1/3秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。	ヘルプ ガイド
 高感度NR	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。	ヘルプ ガイド
 色空間	再現できる色の範囲を変更する。	ヘルプ ガイド
撮影モード/ドライブ		
オートモード	オート撮影の方法を選ぶ。	45
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。([ポートレート] / [スポーツ]など)	ヘルプ ガイド
ドライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。([セルフタイマー] / [連続ブラケット]など)	36

ブラケット設定	ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。	ヘルプ ガイド
📷1/📷2の呼び出し	[📷1/📷2の登録]であらかじめ登録した設定を呼び出す。	ヘルプ ガイド
📷1/📷2の登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。	76
カスタム撮影設定登録	撮影時に呼び出したい機能をカスタムキーに登録する。	ヘルプ ガイド
AF		
フォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。([ワイド] / [フレキシブルスポット]など)	34
🔄 縦横フォーカスエリア切換	カメラのポジション(横位置/縦位置)ごとに、[フォーカスエリア]とフォーカス枠の位置を使い分けるかどうかを設定する。	ヘルプ ガイド
🔦 AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。	ヘルプ ガイド
中央ボタン押しロックオンAF	撮影画面でコントロールホイールの中央を押したとき、被写体を追尾してピントを合わせ続ける機能を設定する。	ヘルプ ガイド
🔄 シャッター半押しAF	シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスによるピント合わせを行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに有効。	ヘルプ ガイド
🔄 プリアF	シャッターボタンを半押しする前から、自動でオートフォーカスするかしないかを設定する。	ヘルプ ガイド
🔄 フォーカスエリア登録機能	静止画撮影時に、フォーカス枠をあらかじめ登録した位置に一時的に移動させる機能を設定する。	ヘルプ ガイド
🔄 登録フォーカスエリア消去	[🔄 フォーカスエリア登録機能]で登録したフォーカス枠の位置情報を消去する。	ヘルプ ガイド

フォーカスエリア自動消灯	フォーカスエリア表示を常に表示するか、ピントが合ったあと一定時間経過後に非表示にするかを設定する。	ヘルプガイド
コンティニユアスAFエリア表示	[コンティニユアスAF]時にフォーカスエリアを表示するかどうかを設定する。	ヘルプガイド
位相差AFエリア表示	位相差AFのエリア表示を設定する。	ヘルプガイド
露出		
露出補正	画像全体の明るさを補正する。	52
露出補正值のリセット	露出補正ダイヤルが「0」の状態ですべて電源を切ったとき、[露出補正]で設定した値を保持するかどうかを設定する。	ヘルプガイド
ISO感度	ISO感度を設定する。([ISO AUTO]など)	54
ISO AUTO低速限界	ISO AUTO時に、ISO感度が変わり始める低速側のシャッタースピードを設定する。	ヘルプガイド
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。([マルチ] / [スポット]など)	ヘルプガイド
スポット測光位置	[フォーカスエリア]が [フレキシブルスポット]または [拡張フレキシブルスポット]のときに、スポット測光位置をフォーカスエリアに連動させるかどうかを設定する。	ヘルプガイド
 シャッター半押しAEL	シャッターボタンを半押ししたときに、露出決定を行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに便利。	ヘルプガイド
露出基準調整	カメラの適正露出値の基準を、測光モードごとに調整することができる。	ヘルプガイド
フラッシュ		
フラッシュモード	フラッシュの発光方式を設定する。	60
調光補正	フラッシュの発光量を調整する。	ヘルプガイド

露出補正の影響	露出補正値をフラッシュの調光に反映するかどうかを設定する。	ヘルプ ガイド
赤目軽減発光	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。	ヘルプ ガイド
色/WB/画像処理		
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて、白いものを白に近い色に調整する。([オート] / [太陽光]など)	58
AWB時の優先設定	[ホワイトバランス]が[オート]のとき、白熱電球などの光源下で優先する色味を設定する。	ヘルプ ガイド
DRO/オートHDR	被写体や背景の明暗の差を細かな領域に分けて分析し、最適な明るさと階調の画像にする。	ヘルプ ガイド
クリエイティブスタイル	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。コントラスト、彩度、シャープネスの調整もできる。([ピビッド] / [ポートレート]など)	ヘルプ ガイド
ピクチャーエフェクト	好みの効果を使って、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できる。([トイカメラ] / [リッチトーンモノクロ]など)	ヘルプ ガイド
ピクチャープロファイル	撮影する画像の発色、階調などの設定を細かく変更できる。 * 映像クリエイター向けの機能です。	ヘルプ ガイド
 美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。	ヘルプ ガイド
ピント補助		
ピント拡大	撮影前の画像を拡大してピントの確認ができる。	ヘルプ ガイド
ピント拡大時間	拡大表示する時間を設定する。	ヘルプ ガイド
 ピント拡大初期倍率	[ピント拡大]を使って画像を拡大するときに、最初に表示する倍率を設定する。	ヘルプ ガイド

 MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。	ヘルプガイド
ピーキングレベル	マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。	ヘルプガイド
ピーキング色	輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。	ヘルプガイド
フォーカスリング操作方向	フォーカス機能が割り当てられたレンズリングの回転方向に対して、遠距離側または近距離側のどちらのフォーカスを割り当てるかを設定する。	ヘルプガイド
顔検出/撮影補助		
顔検出/スマイルシャッター	カメラが人物の顔を判別し、人物にあわせて、ピントや露出、画像処理、フラッシュの調整をする。笑顔を検出すると自動で撮影する。	ヘルプガイド
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。	ヘルプガイド
 オートフレーミング	人物の顔やマクロ撮影する被写体、または[ロックオンAF]でとらえた被写体を検出して、撮影するときシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。	ヘルプガイド

動画		
📷 露出モード	動画撮影時の露出モードを設定する。	ヘルプ ガイド
📷 HFR 露出モード	ハイフレームレート撮影時の露出モードを設定する。	ヘルプ ガイド
📷 記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。([XAVC S 4K] / [AVCHD]など)	64
📷 記録設定	動画のフレームレートとビットレートを選択する。	65
📷 HFR ハイフレームレート設定	ハイフレームレート撮影の設定をする。	ヘルプ ガイド
画質(デュアル記録)	動画記録中に撮影する静止画の画質を設定する。	ヘルプ ガイド
画像サイズ(デュアル記録)	動画記録中に撮影する静止画の画像サイズを設定する。	ヘルプ ガイド
オートデュアル記録	動画記録中に人物を含む印象的な構図を検出したときに静止画を自動で撮影する。	ヘルプ ガイド
📷 Px プロキシ記録	XAVC S動画を記録するとき、低ビットレートのプロキシ動画を同時に記録する。	71
📷 AF駆動速度	動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせ速度を切り換える。	ヘルプ ガイド
📷 AF被写体追従感度	動画撮影時、オートフォーカスの追従感度を設定する。	ヘルプ ガイド
📷 オートスローシャッター	動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。	ヘルプ ガイド
音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。	ヘルプ ガイド

録音レベル	録音レベルを調整する。	ヘルプガイド
音声レベル表示	音声レベルを画面に表示するかどうかを選ぶ。	ヘルプガイド
音声出力タイミング	動画撮影時の音声出力のタイミングを設定する。	ヘルプガイド
風音低減	動画撮影時、風音を低減する。	ヘルプガイド
 手ブレ補正	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。	ヘルプガイド
 マーカー表示	動画撮影時に、モニターにマーカーを表示するかを設定する。	ヘルプガイド
 マーカー設定	動画撮影時に表示されるマーカーを設定する。	ヘルプガイド
ビデオライトモード	LEDライトHVL-LBPC (別売)の点灯方式を設定する。	ヘルプガイド
シャッターボタンで動画撮影	シャッターボタンを使って動画を撮影する。	ヘルプガイド
シャッター / 手ブレ補正		
 シャッター方式	メカシャッターと電子シャッターのどちらを使用するかを設定する。	ヘルプガイド
メモリーカードなしリリース	メモリーカードが入っていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。	ヘルプガイド
 手ブレ補正	静止画撮影時の手ブレ補正を設定する。	ヘルプガイド
ズーム		
ズームアシスト範囲	[ズームアシスト]機能によりズームアウトする量を選択する。	ヘルプガイド
ズーム設定	全画素超解像ズーム、デジタルズームを使用するかどうかを設定する。	56
ズームスピード	本機のズームレバーのズームスピードを設定する。	ヘルプガイド

ズームリング操作方向	ズーム機能が割り当てられたレンズリングの回転方向に対して、W/Tの割り当てを設定する。	ヘルプガイド
リングのズーム機能	レンズリングでのズーム機能を設定する。 [クイック]を選ぶと、レンズリングの回転量に応じた画角にズームする。 [ステップ]を選ぶと、一定の画角で段階的に切り替わる。	ヘルプガイド
表示/オートレビュー		
DISPボタン	DISPボタンを押してモニターやファインダーに表示する情報の種別を設定する。	ヘルプガイド
FINDER/MONITOR	電子ビューファインダーとモニターの表示切り換え方法を設定する。	ヘルプガイド
ゼブラ	明るさ調整の目安になるしま表示を設定する。	ヘルプガイド
グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。	ヘルプガイド
露出設定ガイド	撮影画面で露出設定を変更したときに表示するガイドの設定をする。	ヘルプガイド
ライブビュー表示	モニターの表示に、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。	ヘルプガイド
オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。	ヘルプガイド
操作カスタム		
カスタムキー (撮影)	あらかじめキーに機能を設定しておく、撮影時にキーを押すだけで設定していた機能を実行できる。	77
カスタムキー (再生)	あらかじめキーに機能を設定しておく、再生時にキーを押すだけで設定していた機能を実行できる。	77
ファンクションメニュー設定	Fn (ファンクション) ボタンで表示する機能をカスタマイズする。	78

レンズリングの設定	前レンズリングと後レンズリングにフォーカス機能またはズーム機能のどちらを割り当てるかを設定する。	ヘルプガイド
MOVIE (動画) ボタン	MOVIEボタンの有効/無効を設定する。	ヘルプガイド
ダイヤル/ホイールロック	Fnボタンを押して、撮影時にコントロールダイヤル/コントロールホイールを一時的に無効にする機能を設定する。Fnボタンを押し続けることでロックまたはロック解除する。	ヘルプガイド
電子音	ピントが合ったときや、セルフタイマー操作時の電子音の有無を設定する。	ヘルプガイド
☑ 日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。	ヘルプガイド

🌐 (ネットワーク)

緑色タブ

スマートフォン転送機能	スマートフォンに転送する動画の設定やスマートフォン転送を実行する。	ヘルプガイド
パソコン保存	本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。	ヘルプガイド
テレビ鑑賞	ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。	ヘルプガイド
スマートフォン操作設定	スマートフォンの接続条件を設定する。	ヘルプガイド
飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi/NFC/Bluetooth機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。	ヘルプガイド

Wi-Fi設定	Wi-Fiアクセスポイントの登録や、接続情報の確認と変更を行う。	ヘルプガイド
Bluetooth設定	本機とスマートフォンをBluetooth接続するための設定をする。	ヘルプガイド
位置情報連動設定	ペアリングしたスマートフォンの位置情報を取得して、画像に位置情報を記録する。	ヘルプガイド
機器名称変更	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。	ヘルプガイド
ネットワーク設定リセット	すべてのネットワーク設定をリセットする。	ヘルプガイド

▶ (再生)

青色タブ

削除	画像を削除する。	ヘルプガイド
ビューモード	画像を日付ごとや静止画/動画のフォルダごと再生する。	ヘルプガイド
一覧表示	画像を一覧表示する。	74
連写グループ表示	連続撮影した画像をグループ化して表示するかどうかを設定する。	ヘルプガイド
記録画像の回転表示	縦向きで記録した静止画の再生方法を設定する。	ヘルプガイド
スライドショー	画像を連続再生する。	ヘルプガイド
回転	画像を回転する。	ヘルプガイド
⊕ 拡大	再生画像を拡大表示する。	ヘルプガイド
⊕ 拡大の初期倍率	画像を再生し拡大表示する(再生ズーム)ときの、拡大の初期倍率を選ぶ。	ヘルプガイド

④ 拡大の初期位置	画像を再生し拡大表示する(再生ズーム)ときの、拡大の初期位置を選ぶ。	ヘルプガイド
プロテクト	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。	ヘルプガイド
モーションショットビデオ設定	モーションショットビデオの残像の間隔を調整する。	ヘルプガイド
プリント指定	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。	ヘルプガイド
動画から静止画作成	動画から希望のシーンを切り出して、静止画として保存する。	ヘルプガイド

(セットアップ)

黄色タブ

モニター明るさ	モニターの明るさを設定する。	ヘルプガイド
ファインダー明るさ	電子ビューファインダー使用時、電子ビューファインダーの明るさを設定する。	ヘルプガイド
ファインダー色温度	ファインダーの色温度を設定する。	ヘルプガイド
ガンマ表示アシスト	S-Logを適用した動画を表示するときに、モニタリングをしやすくするため通常のガンマと同等のコントラストを再現する。	ヘルプガイド
音量設定	動画再生時の音量を設定する。	ヘルプガイド
タイトルメニュー	MENUボタンを押したときに、タイトルメニューを表示するかを設定する。	ヘルプガイド
モードダイヤルガイド	モードダイヤルガイド(各撮影モードの説明)の表示を設定する。	ヘルプガイド
削除確認画面	削除の確認画面で、[削除]と[キャンセル]のどちらを選択された状態にするかを設定する。	ヘルプガイド
表示画質	表示画質を設定する。	ヘルプガイド

パワーセーブ開始時間	省電力モード(パワーセーブ)になるまでの時間を設定する。	ヘルプ ガイド
タッチ操作	モニターのタッチ操作を有効にするかどうかを設定する。	39
タッチパッド設定	タッチパッドの設定をする。	ヘルプ ガイド
デモモード	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。	ヘルプ ガイド
TC/UB設定	タイムコード(TC)とユーザービット(UB)の設定をする。 * 映像クリエイター向けの機能です。	ヘルプ ガイド
HDMI設定	HDMIに関する設定を行う。 * [設定 記録方式]を[XAVC S 4K]に設定し、本機をHDMI機器に接続しながら動画を撮影すると、モニターには画像が表示されません。	ヘルプ ガイド
設定 4K映像の出力先	本機を4K対応の外部録画再生機器などと接続するときに、どのように記録、HDMI出力するかを設定する。	ヘルプ ガイド
USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。	ヘルプ ガイド
USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。	ヘルプ ガイド
USB給電	本機とパソコン、またはUSB機器をマイクロUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定する。ただし、付属のACアダプターを使用する場合は、設定にかかわらず給電される。	ヘルプ ガイド
PCリモート設定	PCリモート撮影の設定をする。	82
日時設定	時計、日付の設定をする。	26
エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。	ヘルプ ガイド

著作権情報	撮影する静止画の著作権情報を設定する。	ヘルプガイド
フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。	ヘルプガイド
ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。	ヘルプガイド
ファイル名設定	撮影する静止画のファイル名の先頭3文字を変更する。	ヘルプガイド
記録フォルダー選択	静止画を記録するフォルダーを設定する。	ヘルプガイド
フォルダー新規作成	静止画を記録する新しいフォルダーを作成する。	ヘルプガイド
フォルダー形式	静止画を記録するフォルダーの形式を設定する。	ヘルプガイド
管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。	ヘルプガイド
メディア残量表示	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。	ヘルプガイド
バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。	ヘルプガイド
認証マーク表示	本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。	ヘルプガイド
設定リセット	設定をお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期化]を選ぶ。	ヘルプガイド

★ (マイメニュー)

灰色タブ

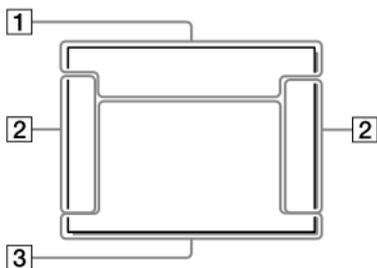
項目の追加	★(マイメニュー)に好みのメニュー項目を追加する。	ヘルプガイド
項目の並べ替え	★(マイメニュー)に追加したメニュー項目を並べ替える。	ヘルプガイド

項目の削除	★(マイメニュー)に追加したメニュー項目を削除する。	ヘルプガイド
ページの削除	★(マイメニュー)に追加したメニュー項目をページごとに削除する。	ヘルプガイド
全て削除	★(マイメニュー)に追加したメニュー項目をすべて削除する。	ヘルプガイド

モニターに表示されるアイコン一覧

表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

モニター撮影用



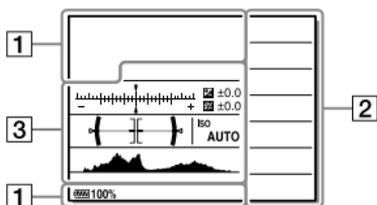
再生時

基本情報画面

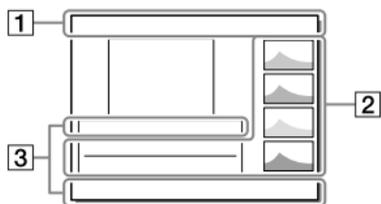


ファインダー撮影用

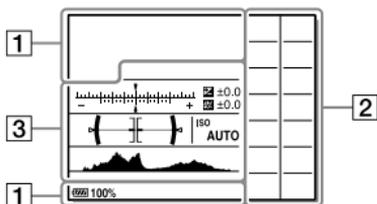
オートモード/シーンセレクション時



ヒストグラム画面



P/A/S/M/スイングパンorama時



1

表示	意味
	撮影モード(44)
	登録番号(76)
	シーン認識マーク
	シーンセレクション (44)
	メモリーカード(23、111)
100	撮影可能枚数(112)
	静止画の画像横縦比 (84)
	静止画の画像サイズ (42)
	静止画の画質(43)

表示	意味
120p 60p 60i 30p 24p	動画のフレームレート
	動画の記録設定 (65)
	Bluetooth接続中/未接続(93)
	スマートフォン接続中/未接続
	バッテリー容量 (25)
	バッテリー残量警告
	USB給電中
	フラッシュ充電表示 (59)
	AF補助光(85)
	設定効果反映Off (91)
	NFC有効
	飛行機モード(92)
	重ね合わせ実行表示 (45)
	動画音声記録オフ (89)
	プロキシ記録 (71)
	風音低減オン(90)

表示	意味
	手ブレ補正オフ/オン、手ブレ警告(90)
	位置情報取得中/位置情報取得無効(93)
	温度上昇警告(114)
	スマートテレコンバーター
	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
	スマートズーム/ 全画素超解像ズーム/ デジタルズーム (56)
	ビューモード(93)
100-0003	フォルダー番号- ファイル番号(96)
	プロテクト(94)
XAVC S 4K XAVC S HD AVCHD	動画の記録方式 (64)
DPOF	DPOF (プリント)指 定(94)
-PC-	PCリモート(95)
	ブライツモニタリング
	著作権情報書き込み オン(96)

表示	意味
240fps 480fps 960fps	HFR撮影時のフレー ムレート(67)
	録画タイミング (67)
Assist Assist S-Log2 S-Log3	ガンマ表示アシスト (94)
	オートフレーミング 画像(88)
	データ書き込み中/書 き込み残り枚数 (72)
キャプチャー	静止画取り込み中 (89)
	静止画撮影不可 (89)
	オートデュアル記録 (89)
	フォーカス解除 (39)
	ロックオンAF解除
スポットフォーカス	スポットフォーカス (40)

2

表示	意味
	ドライブモード (36)

表示	意味
	フラッシュモード (60) / 赤目軽減 (87)
±0.0	調光補正 (86)
AF-S AF-A AF-C MF DMF	フォーカスモード (31)
	フォーカスエリア (34)
	測光モード* (86)
AWB AWB AWB	ホワイトバランス (オート、プリセット、 カスタム、色温度、カ ラーフィルター) (58)
7500K A5 G5	
D-R DRO HDR OFF AUTO AUTO	Dレンジ最適マイザー/ オートHDR (87)
Std. Vivid Ntri Clear Deep Light Port. Land. Sunset Night Autm B/W Sepia +3 +3 +3	クリエイティブスタイル (87) / コントラスト、 彩度、シャープネス
	顔検出/スマイル シャッター (88)

表示	意味
	ピクチャーエフェクト (87)
	著作権情報あり (96)
	スマイル検出感度イン ジケータ (88)
PP1~PP9 PP OFF	ピクチャープロファイ ル(87)
PEAK HI PEAK MID PEAK LO PEAK OFF	ピーキング(88)

3

表示	意味
●ロックオン AF	中央ボタン押しロック オンAF用ガイド表示 (85)
●フォーカス 位置選択入/ 切	フォーカスエリア設定 用ガイド表示
●フォーカス 解除	フォーカス解除用ガイ ド表示
	ブラケットインジケ ーター

表示	意味
	露出補正 (52) / メータードマニュアル (49)
STBY	動画の録画スタンバイ
REC 1:00:12	動画の撮影実時間 (時 : 分 : 秒)
	レンズリングの機能 (92)
ISO	コントロールホイールの機能 (18)
	コントロールダイヤルの機能
	フォーカス (32)
FULL LIMIT	フォーカスレンジリミッター (32)
1/250	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400 ISO AUTO	ISO感度 (54)
	露出設定ガイド (91)
*	AEロック
	シャッタースピードインジケータ
	絞りインジケータ
	ヒストグラム (21)
	位置情報
90°44'55" N 233°44'55" W	緯度・経度情報
	水準器 (20)

表示	意味
	音声レベル (90)
D-R OFF DRO HDR HDR	DRO/オートHDR/オートHDR画像警告 (87)
	ピクチャーエフェクトエラー
2017 - 1 - 1 10:37AM	撮影日時 (26)
3/7	画像番号/ビューモード内画像枚数
	ロックコントロール (95)
	スポット測光サークル (86)
C:32:00	自己診断表示
00:00:00:00	タイムコード (時 : 分 : 秒 : フレーム) (95)
00 00 00 00	ユーザービット (95)

表示パネルの表示

シャッタースピードと絞り、露出補正、調光補正、ISO、ホワイトバランス、ドライブモードなどは上面の表示パネルを見ながら設定できます。



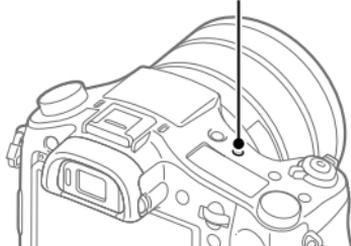
シャッタースピード (48) / 絞り (47)		露出補正 (52) / 調光補正 (86)	
ISO (54)		ホワイトバランス (58)	
ドライブモード (36)		バッテリー容量 (25)	
撮影可能枚数* (112)			

* 9,999枚より多いときでも、表示パネルには「9999」と表示されます。

■ 表示パネルのバックライトをつけるには

上面の☀️(表示パネル照明) ボタンを押します。もう一度押すと消えます。

☀️(表示パネル照明) ボタン



困ったときにすること

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- 1 105～108ページの項目をチェックし、本機を点検する。
モニターに「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「ヘルプガイド」をご覧ください。

- 2 バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

- 3 ヘルプガイド(3ページ)を確認する。

- 4 設定リセットをする(96ページ)。

- 5 サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。
http://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/repair_service/



- 6 相談窓口で電話で問い合わせる。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、ロックレバーがロックするまで挿入してください(23ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(23ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- ソニー製純正のNP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が一定時間続くと、省電力設定(パワーセーブ)になります。シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

充電できない。

- 本機の電源を切った状態で充電してください。

本体が高温になる。

- 連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際のズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- NP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。
- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。
- 1年以上使用していないバッテリーは劣化の可能性があります。
- 充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行うことをおすすめします。

充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行ってください。

電源を入れてもモニターがつかない。

- [FINDER/MONITOR]が[ファインダー (マニュアル)]になっています。[FINDER/MONITOR]を[オート]にしてください(91ページ)。

カメラを振ると、音がする。

- 電源が入っていない状態で、カメラを振ると音がする場合がありますが、故障ではありません。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください(112、113ページ)。いっぱいのはきは、下記のいずれかを行ってください。
 - 不要な画像を削除してください(75ページ)。
 - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影に使用できるメモリーカードは、111ページをご覧ください。
- [デモモード]を[切]にしてください(95ページ)。
- [メモリーカードなしリリース]を[許可]にしてください(90ページ)。ただし、本機にメモリーカードを入れていない状態では、画像は記録されません。
- セルフタイマーになっています。

同じ画像が数枚撮影される。

- ドライブモードが連続撮影、またはブラケット撮影になっています。[1枚撮影]にしてください(36ページ)。

シャッターが連続して切れてしまう。

- 以下の設定の場合は、自動的に複数枚の連写を行い重ね合わせ処理をすることがあります。
 - [ISO感度]が[マルチショットNR]
 - 撮影モードが[スイングパノラマ]
 - 撮影モードが[プレミアムおまかせオート]
 - 撮影モードが[シーンセレクション]の[手持ち夜景]または[人物ブレ軽減]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎます。最短撮影距離(レンズ先端から広角端で約3 cm、望遠端で約72 cm、焦点距離250 mm (35mm判換算)付近で約140 cm)より離して撮影してください。

画像が白っぽくなる(フレア)。

光のにじみが現れる(ゴースト)。

- 強い光源にカメラを向けるとレンズに余分な光が入ることで画像が白っぽくなったり(フレア)、光のにじみが現れたり(ゴースト)することがありますが故障ではありません。

レンズフードを取り付けてください。また強い光源に向けないように構図を工夫して撮影してください。

画像の隅が暗くなる。

- フィルターやフードをご使用の場合は、いったん取りはずしてお試しください。フィルターの厚みやフードの不適切な取り付けにより、画像にフィルターやフードが写り込むことがあります。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダー / ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するにはPlayMemories Homeをご使用ください。

保証書とアフターサービス

■必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

■保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

■アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“困ったときは”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しています。ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

主な仕様

バッテリーの使用時間と撮影可能枚数

		使用時間	枚数
静止画撮影	モニターモード時	—	約400枚
	ファインダーモード時	—	約370枚
実動画撮影	モニターモード時	約75分	—
	ファインダーモード時	約75分	—
連続動画撮影	モニターモード時	約135分	—
	ファインダーモード時	約135分	—

- 使用時間や撮影枚数は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間や枚数は減少する場合があります。
- 使用時間や撮影可能枚数は、お買い上げ時の設定で、以下の条件にて撮影した場合です。
 - 温度が25℃
 - 当社製のSDXCメモリーカード(U3)(別売)使用時
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。(CIPA:カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 10回に一度、電源を入/切する。
 - 2回に一度、フラッシュを発光する。
 - 1回ごとにズームをW側、T側に交互に最後まで動かす。
- 動画撮影時の数値はCIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 動画画質: XAVC S HD 60p 50M
 - 実動画撮影: 撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。
 - 連続動画撮影: 連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度MOVIE(動画)ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどのその他の操作はしない。

使用できるメモリーカード

microSDメモリーカード、メモリースティック マイクロを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

SDメモリーカード

記録方式		対応メモリーカード
静止画		SD、SDHC、SDXCカード
AVCHD		SD、SDHC、SDXCカード (Class4以上またはU1以上)
XAVC S	4K 60Mbps* HD 50Mbps以下* HD 60Mbps	SDHC、SDXCカード (Class10またはU1以上)
	4K 100Mbps* HD 100Mbps	SDHC、SDXCカード(U3)
	ハイフレームレート*	SDHC、SDXCカード (Class10またはU1以上)

* プロキシ記録時を含む

メモリースティック

記録方式		対応メモリーカード
静止画		メモリースティック PRO デュオ、 メモリースティック PRO-HG デュオ
AVCHD		メモリースティック PRO デュオ (Mark2)、 メモリースティック PRO-HG デュオ
XAVC S	4K 60Mbps* HD 50Mbps以下* HD 60Mbps	メモリースティック PRO-HG デュオ
	4K 100Mbps* HD 100Mbps	—
	ハイフレームレート*	メモリースティック PRO-HG デュオ

* プロキシ記録時を含む

ご注意

- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。PlayMemories Homeでパソコンに取り込むことで、1つのファイルとして扱うことができます。
- メモリーカード上の管理ファイルを修復する場合は、バッテリーを十分に充電をしてから実行してください。

静止画の記録可能枚数

メモリーカードを入れてON/OFF（電源）スイッチを「ON」にすると、画面に、撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。

ご注意

- 撮影可能枚数が「0」でオレンジ色に点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください。
- 「NO CARD」がオレンジ色で点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。

1枚のメモリーカードで撮影できる枚数

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。撮影状況および使用するメモリーカードによって記録可能枚数は異なります。

[画像サイズ] : [L:20M]

[横縦比] が [3 : 2] のとき*

(単位 : 枚)

画質	8GB	32GB	64GB	256GB
スタンダード	1150	4800	9600	37500
ファイン	690	2800	5500	22000
エクストラファイン	510	2050	4150	16000
RAW+JPEG	235	950	1900	7500
RAW	355	1400	2850	11000

* [横縦比] を [3 : 2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できません (RAW設定時は除く)。

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときでも、「9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。
- 記載の枚数は、当社製メモリーカード使用時の枚数です。

動画の記録可能時間

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。記録時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

[**REC**] 記録方式が[XAVC S 4K]、[XAVC S HD]の数値は、

[**Px**] プロキシ記録を[切]にして使用したときの数値です。

記録方式	記録設定	8GB	32GB	64GB	256GB
XAVC S 4K	30p 100M	9分	35分	1時間15分	5時間15分
	30p 60M	10分	1時間	2時間5分	8時間35分
	24p 100M	9分	35分	1時間15分	5時間15分
	24p 60M	10分	1時間	2時間5分	8時間35分
XAVC S HD	120p 100M	9分	35分	1時間15分	5時間15分
	120p 60M	10分	1時間	2時間5分	8時間35分
	60p 50M	15分	1時間15分	2時間35分	10時間25分
	60p 25M	30分	2時間25分	5時間	20時間10分
	30p 50M	15分	1時間15分	2時間35分	10時間25分
	30p 16M	50分	3時間50分	7時間45分	31時間30分
	24p 50M	15分	1時間15分	2時間35分	10時間25分
AVCHD	60i 24M (FX)	40分	2時間55分	6時間	24時間15分
	60i 17M (FH)	55分	4時間5分	8時間15分	33時間15分

- 連続撮影可能時間は、気温約25℃の環境で出荷設定を使って撮影した場合、1回につき最大約29分です。(商品仕様による制限)

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR (Variable Bit-Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。

動画の連続撮影についてのご注意

- 高精細な動画撮影や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。
- 連続動画撮影時間は温度環境や動画の記録方式・記録設定、Wi-Fiの接続環境、動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、連続動画撮影時間は短くなります。
- [H]**が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る
- [H]**記録方式が[AVCHD]の場合は、1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に新しいファイルが作成されます。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：13.2 mm×8.8 mm (1.0型)

CMOSセンサー

カメラ有効画素数：約2010万画素

総画素数：約2100万画素

レンズ：ZEISS バリオ・ゾナー T*

25倍ズームレンズ

f=8.8 mm ~ 220 mm

(24 mm ~ 600 mm (35 mmフィルム換算値))、F2.4 (W) ~ F4 (T)

動画撮影時(HD 16:9)：

26 mm ~ 630 mm*¹

動画撮影時(4K 16:9)：

28 mm ~ 680 mm*¹

*¹ [目] 手ブレ補正]が[スタンダード]のとき

手ブレ補正：光学式

静止画記録方式：JPEG (DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.31、MPF Baseline) 準拠、RAW (ソニー ARW 2.3フォーマット)、DPOF対応

動画記録方式：

XAVC S方式(XAVC S規格準拠)：

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：LPCM 2ch (48kHz 16bit)

AVCHD方式(AVCHD規格 Ver.2.0準拠)：

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：Dolby Digital 2ch

ドルビーデジタルステレオクリエイター搭載

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

記録メディア：

メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ、SDカード、microSDメモリーカード

フラッシュ：撮影範囲(ISO感度(推奨露光指数)がオートのとき)
約1.0 m ~ 約10.8 m (W) /
約1.0 m ~ 約6.5 m (T)

[入/出力端子]

HDMI端子：HDMIマイクロ端子

マルチ/マイクロUSB端子*：USB通信
USB通信：Hi-Speed USB (USB 2.0)

マイク端子：ø3.5 mmステレオニジャック

ヘッドホン端子：ø3.5 mmステレオミニジャック

*この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

[ファインダー]

形式：電子式ビューファインダー
(有機EL)

総ドット数：2 359 296ドット

視野率：100%

倍率：約0.70倍(35mm判換算、50 mmレンズ、無限遠、視度 -1 m^{-1} 時)

アイポイント(CIPA準拠)：最終光学面から約23 mm、接眼枠から約21.5 mm (視度 -1 m^{-1} 時)

視度調整： -4.0 m^{-1} ~ $+3.0\text{ m}^{-1}$

[モニター]

液晶モニター：7.5 cm (3.0型)、TFT駆動、タッチパネル

総ドット数：1 440 000ドット

【その他】

定格：

7.2 V  2.4 W

消費電力：

約2.2 W (モニターで撮影時)

約2.4 W (ファインダーで撮影時)

動作温度：0～40℃

保存温度：-20～55℃

外形寸法(幅×高さ×奥行)(約)：

132.5×94.0×145.0 mm

132.5×94.0×127.4 mm (レンズ先端からモニターまで)

質量(CIPA準拠)(約)：1 095 g (バッテリー、SDカードを含む)

マイクロホン：ステレオ

スピーカー：モノラル

Exif Print：対応

PRINT Image Matching III：対応

【ワイヤレスLAN】

対応規格：IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯：2.4GHz帯

セキュリティー：

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

接続方式：Wi-Fi Protected Setup™
(WPS) /マニュアル

アクセス方式：インフラストラクチャー
モード

NFC：NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

【Bluetooth通信】

Bluetooth®標準規格Ver. 4.1

使用周波数帯：2.4 GHz帯

Model No. WW173777

ACアダプター

AC-UUD12/UUE12

定格入力：100 - 240 V 
50/60 Hz、0.2 A

定格出力：5 V 、1.5 A

リチャージャブルバッテリー リーパックNP-FW50

定格：7.2 V 

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)にて制定された統一規格 “Design rule for Camera File system” (DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

■ 商標について

- メモリースティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよび  はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- IOSは、スiscoの登録商標または商標です。
- iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。



■ GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、[PMHOME] - [LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない



禁止

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止

カメラのファインダーやレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。



禁止

本機について / 使用上の注意



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。



禁止

ワイヤレス機能ご使用上のご注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を
与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。



禁止

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くのものに結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。



禁止

危険 電池についての
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意事項
をよくお読みください。

危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。



禁止

注意

- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。



指示



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.com/> を参照してください。

ア行

アイコン一覧	98
赤目軽減発光	87
後幕シンクロ	60
位相差AF	35
位相差AFエリア表示	86
位置情報連動設定	80
一覧表示	74
色温度・カラーフィルター	58
色空間	84
印刷	94
インデックス	74
エクストラファイン	43
エリア設定	95
エンドトリガー	69
エンドトリガーハーフ	69
オートスローシャッター	89
オートデュアル記録	89
オートフォーカス	34
オートフレーミング	88
オートモード	27, 45
オートレビュー	91
おまかせオート	45
主な仕様	115
音声記録	89
音声出カタイミング	90
音声レベル表示	90
音量設定	73, 94

カ行

回転	93
顔検出/スマイルシャッター	88
拡大	93

拡大の初期位置	94
拡大の初期倍率	93
拡張フレキシブルスポット	34
画質	43
画質(デュアル記録)	89
カスタムキー(再生)	77
カスタムキー(撮影)	77
カスタム撮影設定登録	85
カスタムセット	58
画像サイズ	42
画像サイズ(デュアル記録)	89
カメラ内ガイド	3
画面表示	20, 98
感度	54
ガンマ表示アシスト	94
管理ファイル修復	96
機器名称変更	93
強制発光	60
記録画像の回転表示	93
記録可能時間	113
記録可能枚数	112
記録設定	65
記録設定 (ハイフレームレート設定)	67
記録フォルダー選択	96
記録方式	64
クリエイティブスタイル	87
グリッドライン	91
蛍光灯: 昼光色	58
蛍光灯: 昼白色	58
蛍光灯: 白色	58
言語	8

高感度NR	84
項目の削除	97
項目の追加	96
項目の並べ替え	96
個人顔登録	88
コンティニユアスAF	31
コンティニユアスAFエリア表示	86
コントロールホイール	18

サ行

再生	72, 93
削除	75
削除確認画面	94
撮影可能時間	113
撮影可能枚数	112
撮影設定1	84
撮影設定2	89
シーンセレクション	44
自動発光	60
視度調整	14
絞り優先	47
絞りリング	47
シャッタースピード優先	48
シャッター半押しAEL	86
シャッター半押しAF	85
シャッター方式	90
シャッターボタンで動画撮影	90
初期値	96
シングルAF	31
スイングパノラマ	44
スーパースローモーション	67
ズーム	56
ズームアシスト範囲	90
ズームスピード	90
ズーム設定	56

ズーム倍率	57
ズームリング操作方向	91
スタートトリガー	68
全て削除	97
スポット測光位置	86
スポットフォーカス	40
スマートフォン操作設定	92
スマートフォン転送機能	92
スマイルシャッター	88
スローシンクロ	60
静止画撮影	29
設定リセット	96
セットアップ	94
ゼブラ	91
セルフタイマー	38
操作音	92
測光モード	86
ソフトウェア	81

タ行

対応メモリーカード	111
ダイヤル/ホイールロック	92
太陽光	58
タイトルメニュー	94
ダイレクトマニュアルフォーカス	31
タッチ操作	39
タッチパッド設定	95
タッチフォーカス	39
縦記録画像再生	93
縦横比	84
縦横フォーカスエリア切替	85
中央	34
中央ボタン押しロックオンAF	85
調光補正	86
長秒時NR	84

フォーカスリング操作方向	88	メモリーカード	23, 111
フォーカスレンジリミッター	32	メモリーカードなしシリーズ	90
フォーカスロック	30	モーションショットビデオ設定	94
フォーマット	96	モードダイヤル	44
フォルダー形式	96	モードダイヤルガイド	94
フォルダー新規作成	96	モニター	20
ブラケット設定	85	モニター明るさ	94
フラッシュ	59	モニター表示	98
フラッシュモード	60		
プリAF	85	ヤ行	
プリント指定	94	優先設定	67
フレームレート		横縦比	84
(ハイフレームレート設定)	67		
フレキシブルスポット	34	ラ行	
プレミアムおまかせオート	45	ライブビュー表示	91
プロキシー記録	71	リングのズーム機能	91
プログラムオート	46	連写	37
プログラムシフト	46	連写グループ表示	93
プロテクト	94	レンズリングの設定	92
ページの削除	97	連続撮影	37
ヘルプガイド	3	連続ブラケット	36
ボリューム	73, 94	ロー画像	43
ホワイトバランス	58	録音レベル	90
ホワイトバランスブラケット	36	録画タイミング	67
		露出基準調整	86
マ行		露出設定ガイド	91
マーカー設定	90	露出補正	52
マーカー表示	90	露出補正值のリセット	86
マイメニュー	96	露出補正の影響	87
マニュアルフォーカス	31	露出モード	89
マニュアル露出	49	ロックオンAF	34
マルチインターフェースシュー	13		
メディア残量表示	96	ワ行	
メニュー	83	ワイド	34
メニュー一覧	84	ワンタッチ(NFC)	79

数字/アルファベット順

1枚撮影.....	36	MENU	83
1枚ブラケット.....	36	MENUボタン.....	15, 83
4K映像の出力先.....	95	MF.....	31
4K動画.....	64	MFアシスト.....	88
A.....	47	MOVIE (動画)ボタン.....	14, 62, 92
AELボタン.....	16	NFC.....	7, 17, 79
AF.....	34	P.....	46
AF-A.....	31	PCリモート設定.....	95
AF-C.....	31	PlayMemories Home.....	81
AF-S.....	31	PlayMemories Mobile.....	79
AF駆動速度.....	89	RAW.....	43
AF制御自動切り換え.....	31	RAW+JPEG.....	43
AF被写体追従感度.....	89	Remote Camera Control.....	82
AF補助光.....	85	S.....	48
AVCHD.....	64	TC/UB設定.....	95
AWB.....	58	USB LUN設定.....	95
AWB時の優先設定.....	87	USB給電.....	95
Bluetooth機能.....	79	USB接続.....	95
BULB.....	50	WB.....	58
DISP.....	20	Wi-Fi.....	7, 79
DMF.....	31	Wi-Fi設定.....	93
DRO/オートHDR.....	87	XAVC S.....	64
DROブラケット.....	36	XAVC S 4K.....	64
FINDER/MONITOR.....	91	XAVC S HD.....	64
Fn.....	19		
FULL.....	32		
HDMI設定.....	95		
HFR.....	44, 67		
Image Data Converter.....	82		
ISO AUTO.....	54		
ISO AUTO低速限界.....	86		
ISO感度.....	54		
LIMIT.....	32		
M.....	49		

サイバーショットの最新サポート情報

製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリ互換情報に加えて、撮影方法など写真をもっと楽しみたいときに役立つ情報を掲載しています。



<http://www.sony.jp/support/cyber-shot/>

ソフトウェアのサポート情報

PlayMemoriesシリーズなどのソフトウェア・アプリケーションに関する情報を掲載しています。

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

アクセサリ対応情報

本機に対応したアクセサリや電源、メモリーカードなどを掲載しています。

<http://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/connect/>



よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル
 …… **0120-333-020**
 携帯電話・PHS・一部のIP電話
 …… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル
 …… **0120-222-330**
 携帯電話・PHS・一部のIP電話
 …… **050-3754-9599**
 ※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



FAX(共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「401」+「#」(本機や付属品)

「404」+「#」(ソフトウェアPlayMemories Home)

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

